

2021 年度 10 月期入学

修 士 課 程

外国人留学生学生募集要項

Guidelines for International Applicants  
to the 2021 Master's Course Program  
【October 2021 Admission】

【重要】新型コロナウイルスの感染拡大状況に応じて、募集要項の内容が変更される可能性があります。変更・補足等がありましたら、工学研究科ホームページ又は個別にお知らせします。

【IMPORTANT NOTICE】The information in the guidelines for the 2021 application is subject to change due to the current situation regarding COVID-19. Any future changes will be posted on the website of the Graduate School of Engineering or be announced individually. Please be sure to check the website for updates.

<工学研究科 HP> Refer to the website information in the Graduate School of Engineering, Kyoto University.

URL: <https://www.t.kyoto-u.ac.jp/>

京都大学大学院工学研究科  
Graduate School of Engineering, Kyoto University

〒615-8530 京都市西京区京都大学桂

T E L 075-383-2040, 2041

Kyoto University Katsura, Nishikyo-Ku, Kyoto, 615-8530, JAPAN

Phone: +81-75-383-2040 or +81-75-383-2041

E-Mail: [090kdaigakuin-nyushi@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp](mailto:090kdaigakuin-nyushi@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp)

## 目 次

募集人員 .....	4
出願資格と出願資格の審査	
出願資格 .....	4
出願資格の確認（出願資格(3)(4)(5)(6)）...	5
出願資格の審査（出願資格(9)(10)）.....	5
出願書類等 .....	6
出願手続 .....	8
入学者選抜方法と受験票	
学力検査 .....	8
受験票 .....	8
合格者発表 .....	9
入学料及び授業料と入学手続	
入学料及び授業料 .....	9
入学手続 .....	9
注意事項 .....	9
入学者受入れの方針について .....	10
修士課程入学後の教育プログラムについて .....	10
教育プログラムの内容（融合工学コース）.....	12
博士課程教育リーディングプログラムについて .....	12
入試区分別入学試験詳細	

## Contents

I Number to Be Accepted .....	13
II Eligibility and Its Screening	
i Eligibility .....	13
ii Eligibility Confirmation(under requirements (3)(4)(5)(6)) ...	14
iii Eligibility Screening(under requirements (9)(10)) .....	14
III Application Documents .....	15
IV Application Procedures .....	17
V Selection Methods and Examination Voucher	
i Academic Examination .....	17
ii Examination Voucher .....	17
VI Announcement of Entrance Examination Results .....	18
VII Admission Fee, Tuition and Admission Procedure	
i Admission Fee and Tuition .....	18
ii Admission Procedure .....	18
VIII Notes .....	18
IX Admission Policy .....	19
X Educational Programs in Master's Course .....	19
XI Educational Program (Interdisciplinary Engineering Course) .....	21
XII Program for Leading Graduate Schools .....	21
Details of Entrance Examinations of Each Division/Department	

本募集要項の記載内容については日本語版が優先となります。

京都大学大学院工学研究科の修士課程は、大学院設置基準第4条第4項にいう博士課程の前期2年の課程です。

I 募集人員 (各専攻とも若干名)

志望専攻
社会基盤工学専攻
都市社会工学専攻
都市環境工学専攻

II 出願資格と出願資格の審査

出願資格

**外国の国籍を持ち、在留資格「留学」を有する者、又は入学時に「留学」を取得できる見込みの者で、かつ次の各号のいずれかに該当する者、又は次の各号のいずれかに2021年9月末日までに該当する見込みの者**

- (1) 日本の大学又は専門職大学を卒業した者
- (2) 学校教育法第104条第7項の規定により学士の学位を授与された者
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者(参照)
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者(参照)
- (5) 我が国において、外国の大学(専門職大学に相当する外国の大学を含む。以下同じ。)の課程(その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者(参照)
- (6) 外国の大学その他の外国の学校(その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が指定するものに限る。)において、修業年限が3年以上である課程を修了すること(当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。)により、学士の学位に相当する学位を授与された者(参照)
- (7) 文部科学大臣が指定する専修学校の専門課程を文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- (8) 文部科学大臣の指定した者(昭和28年文部省告示第5号)
- (9) 日本の大学又は専門職大学に3年以上在学した者(学校教育法第102条第2項の規定により、これに準ずる者として文部科学大臣が定める者を含む。)であって、京都大学大学院工学研究科において、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認められた者
- (10) 京都大学大学院工学研究科において、個別の入学資格審査により、大学又は専門職大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、22歳に達した者

出願資格の確認（出願資格(3)(4)(5)(6) 外国の大学を卒業した者等（京都大学大学院工学研究科研究生は除く））

出願資格(3)(4)(5)(6)により出願を希望する者（外国の大学を卒業した者及び卒業見込みの者又は外国において学士の学位を取得した者及び取得見込みの者（京都大学大学院工学研究科研究生は除く））は、事前に確認のため、卒業（見込）証明書、学位取得証明書（卒業証明書等で学位取得が確認できる場合は不要です。）及び 出願書類等の 履歴書に記入後コピーしたものを、**2020年12月8日（火）午後5時**までに工学研究科教務課大学院掛へ提出してください。（電子メールでの提出も受け付けます。）

出願資格の審査（出願資格(9)(10)）

出願資格(9)又は(10)により出願を希望する者には、出願に先立ち出願資格の審査を行いますので、次の書類を **2020年12月15日（火）午後5時**までに工学研究科教務課大学院掛へ提出してください。

郵送する場合は、封筒の表に「工学研究科修士課程出願資格認定申請」と朱書し、必ず「書留」にしてください。（2020年12月15日（火）午後5時（必着）まで。）

[ 出願資格審査提出書類 ]

(1) 出願資格認定申請・調書	（出願資格(9)又は(10)該当者）様式は工学研究科ホームページからダウンロードしてください。
(2) 推薦書	（出願資格(9)該当者）在籍する大学が作成し、厳封したものを提出してください。（様式随意）
(3) 成績証明書	（出願資格(9)該当者）在籍する大学が作成し、厳封したものを提出してください。 （出願資格(10)該当者）最終出身学校が作成し、厳封したものを提出してください。
(4) 教育課程表	（出願資格(9)該当者）在籍する学科等の開講科目の講義内容等が記載されているものを提出してください。

1. 出願資格(9)により出願資格の認定申請をした者には、書類審査を行います。
2. 出願資格(10)により出願資格の認定申請をした者には、書類審査並びに大学卒業程度の学力について筆記試験又は口頭試問若しくはその両方を行います。
3. 試験及び試問は、2021年1月6日（水）に工学研究科において行います。
4. 資格審査の結果は、2021年1月7日（木）に申請者あて郵送により通知します。

### III 出願書類等

角型2号の封筒（240 mm×332 mm）の表面にインターネット出願システムの出願登録完了画面から印刷できる宛名ラベルを貼り付け、全ての出願書類を封入し、書留速達扱いにて郵送してください。（持参する場合は、出願書類を封筒に入れる必要はありません）

志望する入試区分（専攻・系・群）の中には、独自の書類の提出を課していることがあります。「入試区分別入学試験詳細」をよく読んで対応してください。

#### 【A 全員提出が必要】

<p>志願票・写真票</p> <p>出願登録を完了しないと印刷できません。</p>	<p>インターネット出願システムの出願登録完了画面から印刷してください。写真票には、上半身脱帽正面向きで出願前3か月以内に単身で撮影した写真1枚（縦4 cm×横3 cm）を枠内に貼り付けてください。</p> <p>*おって、大学から送付する受験票に写真を貼付する必要があるため、あらかじめ同じ写真をもう1枚準備しておいてください。</p>
<p>受験票送付用封筒</p> <p>海外への発送は行いません（下記注意参照）</p>	<p>工学研究科ホームページからダウンロードした受験票送付用ラベルに384円切手（速達）を貼付のうえ、受験票発送時の連絡先、志望入試区分を記入し、<b>長形3号</b>の封筒（120 mm×235 mm）に貼り付けてください。</p> <p><b>カラーで印刷してください。白黒の場合は上部に朱書きで速達とわかるように線を引いてください。</b></p>
<p>合格者受験番号一覧送付用封筒</p> <p>海外への発送は行いません（下記注意参照）</p>	<p>工学研究科ホームページからダウンロードした合格者受験番号一覧送付用ラベルに84円切手を貼付のうえ、合格者発表時の連絡先、入試区分を記入し、<b>長形3号</b>の封筒（120 mm×235 mm）に貼り付けてください。</p>
<p>在留カード（両面）のコピー 外国人留学生のみ</p>	<p>出願時に提出できない者は、パスポートのコピー（顔写真のあるページ）を提出し、入学時までには必ず在留カード（両面）のコピーを提出してください。</p>
<p>履歴書</p>	<p>工学研究科ホームページから様式をダウンロードし、履歴に空白期間のないように記載してください。</p>
<p>入学検定料</p> <p>京都大学総長が指定する災害による災害救助法適用地域において、主たる家計支持者が被災された方で、罹災証明書等を得ることができる場合は入学検定料を免除または返還することがあります。対象となる災害及び要件については、京都大学ホームページ（「入学検定料の免除について」 <a href="http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/admissions/fees_exemption">http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/admissions/fees_exemption</a>）を参照してください。詳しくは、工学研究科 教務課 大学院掛まで問い合わせてください。</p>	<p>入学検定料 30,000円 支払い方法は、インターネット出願時に以下のいずれかを選択してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コンビニエンスストア</li> <li>・クレジットカード</li> <li>・金融機関ATM [Pay-easy]</li> <li>・ネットバンキング</li> </ul> <p><b>国費留学生として入学予定の者は不要です。</b></p> <p>現在、京都大学工学部・工学研究科以外に在籍している国費留学生は、「国費留学生証明書」を提出してください。なお、現在国費留学生であっても入学時に延長される見込みが無い場合は、入学検定料の支払いが必要です。</p> <p>入学検定料の他に支払い手数料（650円）が必要となります。 出願書類受理後の入学検定料の払い戻しには応じません。（左記「総長が指定する災害」による免除対象者を除く）</p>

**注意：海外在住の場合は、日本の切手や封筒の入手及び工学研究科から送付する書類の受け取りについて、予め手配しておいてください。**

【B 外国の大学を卒業した者及び卒業見込みの者（京都大学大学院工学研究科研究生は除く）は、上記Aに加えて以下の書類が必要】

成績証明書	本紙（オリジナル）を提出してください。
卒業（見込）証明書	本紙（オリジナル）及び学位取得証明書を提出してください。なお、卒業証明書等で学位取得が確認できる場合は不要です。
推薦書	出身大学（卒業見込者は在学大学）の指導教員等が作成したもの。推薦者が所属する機関の公式なレターヘッドが印刷された用紙を使用して、以下（1）～（6）の内容が記載されていること。 （1）出願者の学力、研究者や専門家としての適性、人物像、学業や研究の成果等についての総合的な所見 （2）出願者氏名 （3）出願者との関係 （4）推薦者の所属、身分、連絡先（Eメールアドレス含む） （5）推薦者の自筆による署名 （6）作成年月日 必要に応じて推薦者に推薦内容を照会することがあります。

日本語または英語以外で書かれている証明書を提出する場合は、日本語訳（または英語訳）を添付してください。

（再掲） - 外国の大学を卒業した者及び卒業見込みの者又は外国において学士の学位を取得した者及び取得見込みの者は、事前に確認のため、卒業（見込）証明書、学位取得証明書（卒業証明書等で学位取得が確認できる場合は不要です。）及び出願書類等の履歴書に記入後コピーしたものを、2020年12月8日（火）午後5時までに工学研究科教務課大学院掛へ提出してください。（電子メールでの提出も受け付けます。）

【C 日本の大学（京都大学工学部を除く）を卒業した者及び卒業見込みの者は、上記Aに加えて以下の書類が必要】

成績証明書	本紙（オリジナル）を提出してください。
卒業（見込）証明書	本紙（オリジナル）を提出してください。

【D 出願資格（2）に該当する者は、上記Aに加えて以下の書類が必要】

成績証明書	本紙（オリジナル）を提出してください。高等専門学校修了者は本科及び専攻科の両方が必要です。
卒業（見込）証明書	本紙（オリジナル）を提出してください。
学士の学位授与証明書	大学評価・学位授与機構に学士の学位を申請する予定の者は、学校長名の学位授与申請予定である旨の証明書（学位が得られないこととなった場合は、そのことを速やかに通知する旨の記載があるもの）を提出してください。

各入試区分において、上記の書類とは別に書類を求める場合があるので、注意してください。  
詳細は、入試区分別入学試験詳細を参照してください。

#### IV 出願手続

出願手続は、出願期間内に「インターネット出願システムでの出願登録」、「入学検定料納入」、「出願書類の提出」をすることにより完了します。

インターネット出願システムのページには、以下の URL からアクセスしてください。

<https://www.webshutsugan.com/kyoto-u-daigakuin/>

【注意】インターネット出願システムでの出願登録のみでは、出願したことにはなりません。

- (1) 出願者は、角型 2 号の封筒 (240 mm × 332 mm) にインターネット出願システムから印刷した宛名ラベルを貼り、全ての出願書類を封入し、書留速達扱いにて郵送又は持参してください。
- (2) 出願書類に不備があるもの及び出願期間後に郵送、提出された出願書類は受理しませんので注意してください。
- (3) 出願書類受理後は、出願事項の変更は認めませんので注意してください。
- (4) 次に該当する場合には納付済の検定料を返還しますので、工学研究科教務課大学院掛 (TEL: 075-383-2040、FAX: 075-383-2038) へ連絡してください。
  1. 検定料は納付したが京都大学大学院工学研究科に出願しなかった(出願書類等を提出しなかった又は出願が受理されなかった)場合
  2. 検定料を誤って二重に納付した場合  
検定料返還を希望する場合は、志願者氏名、郵便番号、住所、電話番号、検定料の納入方法、納入した金融機関名又はコンビニエンスストア名及び支店名をファックスにてお知らせください。
- (5) 志望する入試区分(専攻・系・群)の中には、独自の書類の提出を課していることがあります。「入試区分別入学試験詳細」をよく読んで対応してください。
- (6) 複数の入試区分への出願は認めません。
- (7) 京都大学大学院工学研究科では、障害等があり、受験上あるいは修学上の合理的配慮を必要とする場合は、協議しますのでご相談ください。  
なお、内容によっては対応に時間を要することもありますので、相談を希望する者は、出願前の早い時期に工学研究科教務課大学院掛へ申し出てください。

出願期間および入学検定料納入期間

2021年1月5日(火)～1月14日(木)午後5時(必着)

**この期間中に、インターネット出願の登録と入学検定料の納入を済ませ、なおかつ出願書類が本研究科に到着していなければなりません。**

ただし、1月11日(月)以前の日本の発信局消印がある書留速達郵便に限り、期限後に到着した場合においても受理します。

- 受付方法：原則郵送とする(郵便局窓口にて書留速達郵便を申し込むこと)。ただし、所用により大学に来ている場合は専用ポストに提出してもよい。(対面での受付は行わない)  
**書類に不備があった場合は連絡するため、締切まで余裕をもって提出すること。**
- 送付先：〒615-8530 京都市西京区京都大学桂 京都大学工学研究科教務課大学院掛
- 専用ポスト受付時間：出願期間中、平日の午前9時～午後5時
- 専用ポスト設置場所：桂キャンパス B クラスター - 事務管理棟 1階教務課大学院掛窓口前  
ポストに入れる際は、インターネット出願システムより出力できる郵送用の宛名ラベルを貼付した封筒に入れ、封をした状態で投函してください。

#### V 入学者選抜方法と受験票

入学者の選抜は、出願書類の内容、学力検査の成績を総合して行います。

学力検査

試験日程は別途通知します。

受験票

受験票は、出願書類「受験票送付用封筒」に記入された住所へ2月上旬に郵送します。



## VI 合格者発表

日時：2021年2月25日(木)午前10時

上記日時に、合格者の受験番号を京都大学大学院工学研究科インターネットホームページに掲載します。

(アドレス「<http://www.t.kyoto-u.ac.jp/ja/admissions/graduate/exam1>」)

また、志願者全員に「合格者受験番号一覧」を送付するとともに合格者には「合格通知書」をあわせて送付します。(電話等による問い合わせには応じません。)

## VII 入学料及び授業料と入学手続

入学料及び授業料

入学料 282,000円(予定)

**【国費留学生として入学予定の者は不要】**

授業料 前期分 267,900円(年額 535,800円)(予定)

**【国費留学生として在学中は不要】**

入学料及び授業料は予定額ですので、改定されることがあります。

入学時及び在学中に改定された場合には、改定時から新入学料及び新授業料が適用されます。

入学手続

- (1) 合格者の入学手続の詳細については、2021年9月上旬にインターネット出願システムに入力された志願者住所へ郵送により通知します。
- (2) 連絡先を変更した時は、教務課大学院掛まで、文書でお知らせください。
- (3) 事情により入学を辞退する者は、直ちにその旨を各専攻事務室(クラスター事務区教務掛)に届け出てください。
- (4) 2021年10月1日までに留学ビザを取得しておいてください。
- (5) 入学手続き日は2021年9月中旬の予定です。

## VIII 注意事項

### (1) 個人情報の取扱いについて

個人情報については、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」及び「京都大学における個人情報の保護に関する規程」に基づいて取り扱います。

入学者選抜を通じて取得した氏名、性別、生年月日、住所、その他の個人情報については、入学者選抜(出願処理、選抜実施)関係、合格者発表関係、入学手続業務を行うために利用します。

入学者選抜を通じて取得した個人情報(成績判定に関する情報を含む)は、入学者のみ 教務関係(学籍管理、修学指導、教育課程の改善等)、学生支援関係(保健管理、就職支援、授業料免除・奨学金申請等)、授業料徴収に関する業務を行うために利用します。

なお、入学者選抜を通じて取得した個人情報を電算処理する場合、当該電算処理に係る業務を外部の業者等に行わせるために当該業者に個人情報を提供することがあります。ただし、この場合には、当該業者に対して個人情報保護法の趣旨に則った保護管理の業務を契約により課します。

### (2) 安全保障輸出管理について

京都大学では、外国人留学生等への教育・研究内容が、国際的な平和及び安全の維持を妨げることが無いよう、「外国為替及び外国貿易法」に基づく安全保障輸出管理を行っています。規制事項に該当する場合は、希望する教育が受けられない場合や研究ができない場合がありますので、注意してください。

### (3) 長期履修学生制度について

工学研究科では、仕事・出産・育児・介護・身体等の障害などの事情に基づき、標準修業年限の2倍までの間で計画的に教育課程を履修することを認める長期履修学生制度を導入しています。希望者は、詳細を工学研究科ホームページ-入学案内ページで確認のうえ、5月末までに申請してください。

問合せ先

〒615 - 8530 京都市西京区京都大学桂

京都大学工学研究科教務課大学院掛

TEL 075-383-2040・2041

FAX 075-383-2038

E-Mail 090kdaigakuin-nyushi@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

大学院入試に関する情報については、工学研究科及び各専攻のホームページに随時掲載しております。  
**風雪等による入試日程への影響が懸念される場合にも、下記ホームページから実施についての告知を行います。**

工学研究科のホームページ：<http://www.t.kyoto-u.ac.jp/ja/>

各専攻のホームページ：上記の URL よりアクセスしてください。

## IX 入学者受入れの方針（アドミッションポリシー）について

### 工学研究科の理念・目的

工学は、真理を探求し、その真理を核として人類の生活に直接・間接に関与する科学技術を創造する役割を担っており、地球社会の持続的な発展と文化の創造に対して大きな責任を負っています。京都大学大学院工学研究科は、この認識のもとで、学問の基礎や原理を重視して自然環境と調和のとれた科学技術の発展を先導するとともに、高度の専門能力と創造性、ならびに豊かな教養と高い倫理性・責任感を兼ね備えた人材を育成することをめざしています。

### 望む学生像

工学研究科修士課程では、次のような入学者を求めます。

工学研究科が掲げる理念と目的に共感し、これを実現しようとする意欲を有する人。

専門分野とこれに関連する諸分野において真理を探求するために必要な基礎知識を有し、それを踏まえた論理的思考と既成概念にとらわれない判断力を有する人。

科学技術および社会の諸課題について、知識を総合しその解決に取り組む中で創造的に新しい科学技術の世界を開拓しようとする意欲と実行力に満ちた人。

他者の意見を理解し、自らの意見や主張をわかりやすく表明できるコミュニケーションの基礎的能力を持った人。

入学者選抜では、個別学力検査を実施し、学修を希望する専門分野の基礎的知識とそれを踏まえた論理的な思考能力に重点をおきつつ、英語の能力も含めて評価・選抜しています。

なお、各評価方法等の詳細については、本募集要項に明記しています。

## X 修士課程入学後の教育プログラムについて

京都大学大学院工学研究科では2008年4月入学者から、従来の修士課程教育プログラムに加えて、博士学位の修得を目指す諸君を対象に新たな教育プログラム『大学院博士課程前後期連携教育プログラム』を創設しました。修士課程（博士前期課程）入試に合格し入学を許可された諸君は、所定の審査の後、以下に説明する教育プログラムのいずれかを選択することになります。

なお、教育プログラムの具体的な開講科目等については、修士課程入学後に配付される『学修要覧』をご覧ください。

### 工学研究科の教育課程

工学研究科の教育課程の目的は、地球社会の持続的な発展と文化の創造、真理の探究並びに自然環境と調和のとれた科学技術の発展に貢献するため、基礎研究を重視して自然環境と調和のとれた科学技術の発展をリードするとともに、豊かな教養と個性を兼ね備え、幅広い学識に支えられた創造的の先端研究能力と高い倫理性を有し、自律的に真理を探求する研究者、高度技術者を育成することです。

この目的を達成するため、修士課程（2年）では、豊富な講義科目、実験・演習・セミナー科目、短期インターン等を有機的に組み合わせることにより幅広い学識と国際性を修得させ、研究を通じた教育を介して、自ら問題を発見し解決する能力を有する研究者、高度技術者を育成します。

博士後期課程（3年）では、研究を通じた教育を介して、新しい研究分野において研究チームを組織し新たな研究をリードすることのできる研究者を育成します。研究を進める上で必要な専門的かつ基礎的な知識を修得させるための豊富な講義科目、実験・演習・セミナー科目を開講します。また、専攻の特徴に応じて、工学研究科に設けられた桂インテックセンター高等研究院や連携企業、国際機関等におけるORT(On the Research Training) や長期インターン等により幅広い学識と国際性を修得させます。

修士課程入学後から、博士学位を取得し大学や研究機関、企業等で活躍する研究者を目指す諸君には、修士課程と博士後期課程を連携する教育プログラム（3年～5年）が提供されます。長期的な視点から、科目履修や研究推進、ORT や長期インターン等を組み合わせた独自のカリキュラムを設計し、計画的に学修・研究に取り組みます。

### 入学後の教育プログラムおよび修了要件

#### (1) 教育プログラム

京都大学大学院工学研究科には、修士課程（博士前期課程）と博士後期課程がおかれています。京都大学大学院工学研究科には、修士課程のみの教育プログラム（修士課程教育プログラム、略称「修士プログラム」）と修士課程と博士後期課程を連携する教育プログラム（大学院博士課程前後期連携教育プログラム、略称「連携プログラム」）が開設されています。連携プログラムは、博士後期課程まで進学し、将来は研究者として活躍することを目指す者に対する教育プログラムです。

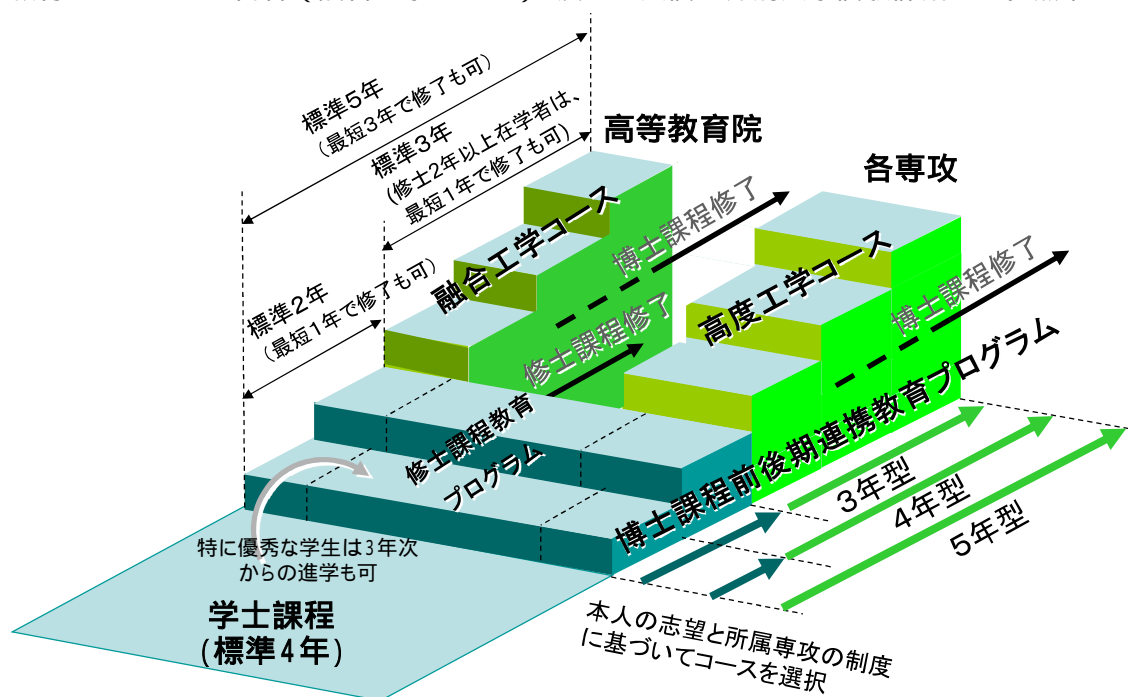
修士プログラムでは、各専門分野の専門基礎科目の講義を履修すると共に、修士論文研究を通して研究の進め方を学びます。企業、研究機関等の研究者、高度技術者として活躍することを目指す者に対する教育プログラムです。

連携プログラムは、系専攻を横断して新設された高等教育院に融合工学コースが、また既存の系専攻に高度工学コースが開設されています。それぞれに在籍期間を修士課程からの入学年次に応じて3～5年とする3つの型（「5年型」、「4年型」および「3年型」）が開設されています。

連携プログラムの融合工学コースにおいては、主指導教員に加えて原則として2名の副指導教員を定め、履修生の目的に応じたカリキュラム構成や進路指導等、綿密な指導を行います。履修生の学籍は、原則として主指導教員が所属する専攻に置かれます。また、学修・研究の進展に応じて、専攻毎に設定される時期に進級審査等が行われます。

なお、選択する教育プログラムに関わらず、博士後期課程に進学するためには、博士後期課程入学試験に合格する必要があります。

修士課程入試後の教育プログラムの標準的な履修進行は次項の通りです。詳細については、「XI 教育プログラムの内容（融合工学コース）」及び「入試区分別入学試験詳細」を参照下さい。



## (2) 修了要件

修士課程に2年以上在籍し、研究指導を受け、各修士プログラムが定める専攻科目につき30単位以上を修得すると共に修士論文の審査および試験に合格した者には修士の学位が与えられます。

博士後期課程に3年以上在籍し、研究指導を受け、連携プログラムが定める専攻科目につき10単位以上を修得すると共に博士論文の審査および試験に合格した者には博士の学位が与えられます。

連携プログラムを履修した者には、2年次修了時に、修士論文の審査を経て修士の学位が授与されます。連携プログラム修了時には、博士論文の審査を経て博士の学位が授与されます。

なお、学修・研究について著しく進捗が認められる者は、審査を経て、修士課程および博士後期課程の通算在籍期間を、3年を限度に短縮して学位を得ることができます。

## XI 教育プログラムの内容（融合工学コース）

### 人間安全保障工学分野

人口1000万人以上の都市域人口は、今後、急速な増加が予測されています。これら広域的な人口集中を呈する都市におけるベーシック・ヒューマン・ニーズの未充足、環境汚染の増大、異常気象や地震等による災害リスクの増加、これらの脅威に対する個人及びコミュニティ・レベルでの自立的対応能力の欠如は人間の生存・生活への大きな脅威となっています。しかし、これまでは技術、制度、運営・管理、ガバナンス及びそれらを体系的にマネジメントする学理体系と人材整備の大きな遅れのため、これらの脅威に対し、十分な対応ができていないというのが現状です。このような問題を解決していくためには都市管理戦略や都市政策策定などの次元を含む総合的な学問に基づいた教育・研究を推進することが必要です。

本教育プログラムが目指す人間安全保障工学とは、人々を日常の不衛生・災害・貧困などの脅威から解放し、各人の持つ豊かな可能性を保障するための工学です。その特徴として、

- 1) 徹底した現場主義と適正な地域固有性の取り込み
- 2) 技術、都市経営管理、制度づくりの共進化
- 3) 多様なアクターが主体となる構造の内包化

が挙げられます。また、以下の4分野を融合した、「まず問題ありき」の学問でもあります。

- 1) 都市ガバナンス：都市の地域固有性をふまえ、市民を含む多用な主体が、都市の人間安全保障の確立に向け協働する仕組みづくりの戦略と技法
- 2) 都市基盤マネジメント：経営管理の観点に立ち、財務的経営のみならず、災害・環境破壊の防止の社会的価値を考慮した都市基盤の展開・整備戦略の技法
- 3) 健康リスク管理：都市の衛生・環境に関する革新的及びローカライズした技術とその戦略
- 4) 災害リスク管理：都市の総合的な災害リスク管理の戦略とその実現のための方法論

本分野では、都市の人間安全保障工学を支えるコア領域と上記4つの基礎分野について、複数が跨がって確実な素養を獲得させ、それらを都市の人間安全保障確保に向け目的的かつ統合的に適用する能力と、その技法を深化・進展しうる能力を持った研究者及び高度な技術者を養成します。具体的には、以下の素養に富んだ人材を養成することを目標としています。

- 1) 独創性（メガシティの人間安全保障工学に関する幅広い知識と高い専門性を有するだけでなく、既存の専門分野を越える能力）
- 2) 国際性（英語での研究討論・発表能力、海外での教育・研究活動、人的国際ネットワーク構築能力）
- 3) 自立性（研究立案能力、教育・研究指導力、研究資金獲得能力、現場での解決能力）

## XII 博士課程教育リーディングプログラムについて

京都大学では、優秀な学生を俯瞰力と独創力を備え広く産学官にわたりグローバルに活躍するリーダーへ導くため、2012年度から博士課程教育リーディングプログラムを開始しました。

工学研究科では以下のプログラム（5年一貫コース）に参画しています。

### a. グローバル生存学大学院連携プログラム（複合領域型）

5専攻（社会基盤工学専攻、都市社会工学専攻、都市環境工学専攻、建築学専攻、機械理工学専攻）が2012年度より参画しています。

なお、本プログラムの科目・カリキュラム・履修候補生の募集等の詳細については、別途ホームページ等にてお知らせします。プログラムによっては、履修候補生の募集が終了している場合もあります。

*The Japanese language version of the information provides here is to be given precedence.*

The Master's Course Program at the Graduate School of Engineering, Kyoto University refers to the two-year course prior to the Doctoral Course Program, as stipulated in Article 4-4 of the University Establishment Standards.

**I Number to Be Accepted      A Few**

Civil and Earth Resources Engineering
Urban Management
Environmental Engineering

**II Eligibility and Its Screening**

**i Eligibility**

**Applicants must have non-Japanese citizenship and hold the residence status of “College Student” at the time of admission, and satisfy any of the following eligibility (or will satisfy any of the following eligibility by the end of September 2021).**

- (1) A person who has graduated from a Japanese university or Professional and Vocational University (hereinafter, referred to as PVU).
- (2) A person who has received a bachelor degree according to the provisions of Article 104, Paragraph 7 of the School Education Law.
- (3) A person who has completed a 16-years of formal school education in a foreign country. \* ii
- (4) A person who has completed a 16-years of education by correspondence courses of a foreign-affiliated educational institution in Japan. \* ii
- (5) A person who has completed a program(limited to a program whose graduates are regarded as having completed a 16-year course in the respective foreign country) of a foreign-affiliated educational institution in Japan under the school education system of the respective foreign country as offering a undergraduate program of the foreign university(this includes the school equivalent to PVU in that country, the same shall apply hereinafter) and which is designated by the Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology(hereinafter, referred to as the MEXT). \* ii
- (6) A person who has received a degree equivalent to a bachelor's degree by 30 September 2021 by completing a three-year or longer program at a foreign university or other foreign educational institution. The university or educational institution must have been accredited by the respective foreign government or a person certified by the appropriate foreign governmental agency, or have been so designated by the MEXT. (This includes a person who has completed an appropriate program offered by the respective foreign educational institution through distance learning while residing in Japan, and a person who has completed an appropriate foreign educational program at an educational institution in Japan as specified in the previous item.) \* ii
- (7) A person who has completed the required course of study in a higher professional school designated by the MEXT after a date specified by the MEXT.
- (8) A person designated by the MEXT (under Notification No.5, Minister of Education, 1953).
- (9) A person having attended a Japanese university/PVU for at least 3 years (including a person designated by the MEXT as satisfying Article 102 Paragraph 2 of the School Education Act) and having been recognized by the Graduate School of Engineering, Kyoto University as having achieved excellent grades in certain determined classes.
- (10) A person who has reached the age of 22, and has been recognized by the individual screening in the Graduate School of Engineering, Kyoto University as having academic abilities equivalent or superior to those of university/PVU graduates.

**Eligibility Confirmation (under requirements (3)(4)(5)(6))**

(Except Research students of Graduate School of Engineering, Kyoto University)

**A person who has graduated or is expected to graduate from a foreign university, or a person who has received or is expected to receive a bachelor degree from a foreign university, needs to submit the photocopied graduation certificate (or the certificate of expected graduation), Certificate of Bachelor's Degree (If the graduation certificate or other documents show that bachelor's degree has been completed, applicants don't need to submit Certificate of Bachelor's Degree) and the photocopied resume form mentioned in order to confirm your eligibility. These photocopied documents must be submitted to the Graduate Student Section of the Educational Affairs Division of the Graduate School of Engineering by 5:00 pm, 8 December 2020. Submission by email is also available.**

**Eligibility Screening (under requirements (9)(10))**

Those who intend to apply under requirement (9) or (10) above are subject to screening prior to acceptance of their applications. The documents below must be submitted to **the Graduate Student Section of the Educational Affairs Division by 5:00 pm, 15 December 2020.**

When mailing, use registered mail and mark "For eligibility screening for application to Master's Course Program in Graduate School of Engineering" in red on the envelope. The required documents must be received by 5:00 pm, 15 December 2020.

[ Documents necessary for eligibility screening ]

(1) Eligibility statement	(Applicants under requirement (9) or (10)) Download the designated form from our website of Graduate School of Engineering.
(2) Recommendations	(Applicants under (9)) To be prepared and sent in a sealed envelope by the university at which the applicant has been enrolled (any format is acceptable).
(3) Academic transcript	(Applicants under (9)) To be prepared and sent in a sealed envelope by the university at which the applicant has been enrolled. (Applicant under (10)) To be prepared and sent in a sealed envelope by the last university at which the applicant is or was enrolled.
(4) Curriculum	(Applicants under (9)) The curriculum including class descriptions is to be provided by the university department at which the applicant has been enrolled.

1. Applicants under (9) above are screened by the submitted documents.
2. Applicants applied under (10) above are screened by both the submitted documents and either a written or oral examinations (or both) for evaluating their academic abilities.
3. The written and/or oral examinations will be conducted on 6 January 2021 at the Graduate School of Engineering.
4. The screening results will be mailed on 7 January 2021.

### III Application Documents

Prepare a square shape envelope (Size 240 mm × 332 mm) and paste the label that you print from our registration completion screen of the Kyoto University Online Application on the above envelope. Enclose the following application documents in the envelope and submit it by registered express mail.

When you submit directly, you do not need to use the above label and envelope for enclosing application documents.

In some divisions/departments, you may be required to submit the other documents for application. Read the “Details of Entrance Examination of each division /Department” carefully.

#### 【A All applicants are required to submit the following documents A ( to )】

<p>Application form, photograph</p> <p>You can't print out this form unless completing registration on website.</p>	<p>Please submit the designated forms that you can print from our registration completion screen of the Kyoto University Online Application.</p> <p>Affix photograph taken within 3 months (Single, Upper body front facing without hat) size (4 cm × 3 cm)</p> <p><b>It is necessary to affix the photograph on examination voucher that we will send later.</b></p> <p><b>Prepare a total of 2 photographs in advance.</b></p>
<p>Return envelope for examination voucher to the applicant</p> <p>The international shipping is not available. ( Read below *Note )</p>	<p>Please affix a ¥384 (for sending in express mail) postage stamp and write your applied division and contact address of Japan to a label for sending examination voucher which downloaded from our website of Graduate School of Engineering, and paste it to long type envelope (Size 120 mm × 235 mm).</p> <p><b>Please print in color. In the case of black and white print, draw a Red line under the letter of “速達” on the top.</b></p>
<p>Envelope for the result of entrance examination</p> <p>The international shipping is not available. ( Read below *Note )</p>	<p>Please affix an ¥84 postage stamp and write your applied division and contact address of Japan to a label for sending the result of entrance examination which downloaded from our website of Graduate School of Engineering, and paste it to long type envelope (Size 120 mm × 235 mm).</p>
<p>Photocopy of both sides of Residence card</p> <p>Only required by foreign students</p>	<p>Applicants who cannot provide it at the time of application need to submit a photocopy of his/her passport page with face photograph after that, submit a photocopy of both sides of Residence card by admission.</p>
<p>Resume</p>	<p>Download the designated form from our website of Graduate School of Engineering.</p> <p>Fill out all items without blank.</p>
<p>Entrance exam fee</p> <p>For households in regions where the Disaster Relief Act is effective and whose principal wage-earner has been adversely affected by the disasters listed in the website below, an exemption/refund may be made to the payment of Entrance Examination Fees for cases where a <i>risai shomeisho</i> (Disaster Victim Certificate) has been issued. For the list of the disasters and requirements of an exemption, refer to <a href="http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/admissions/fees_exemption">http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/admissions/fees_exemption</a></p> <p>For further details, contact the administrative office at the Graduate School of Engineering.</p>	<p>Entrance exam fee: ¥30,000</p> <p>Select one payment method among four listed below when you apply to the Kyoto University Online Application.</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Convenience Store</li> <li>• Credit Card</li> <li>• Bank ATM [Pay-easy]</li> <li>• Internet Banking</li> </ul> <p><b>International students expected to receive the Japanese Government (<i>Monbukagakusho</i>) MEXT Scholarship are exempt from this fee.</b></p> <p><b>Applicable to the above status, international students who are in receipt of MEXT Scholarship currently and who are not enrolled in the Faculty of Engineering or Graduate School of Engineering of Kyoto University are required to submit a MEXT Scholarship Student certificate (<i>kokuhi ryu-gakusei shoumeisho</i>).</b></p> <p>Applicants are required to pay a charge (650 yen) as well as entrance exam fee.</p> <p>This fee will not be refunded after your application is accepted except for the exempted by the way mentioned left..</p>

**\*Note: It is necessary to arrange how to prepare Japanese envelopes and postage stamps, receive it in Japan and also how to submit application documents beforehand in the case applicants who live outside of Japan when applying.**

**【B Applicants who have graduated or are expected to graduate from a foreign university should submit the following documents B ( to ), in addition to those specified above A ( to )】 (Except Research students of Graduate School of Engineering, Kyoto University)**

Academic transcript	Please submit the original of the document.
Graduation certificate (or the certificate of expected graduation)	Please submit the original of the document. For those who have gained bachelor's degree, please submit Certificate of Bachelor's Degree. (If the graduation certificate shows that bachelor's degree has been completed, they don't need to submit Certificate of Bachelor's Degree.)
Letter of recommendation	Please submit a letter of recommendation from the supervisor of your current/former degree program. The letter of recommendation should include the following: (1) General remarks and overall impressions of the applicant (academic ability, aptitude for research or professional skills, character, quality of previous work, etc.) (2) Name of the applicant (3) Recommender's relationship with the applicant (4) Recommender's institution, position, and contact information including email address (5) Recommender's signature (in his/her own handwriting) (6) Date of issue Notes: i. There is no official form for letters of recommendation; the letter should be written on the official letterhead of the recommender's institution. ii. The recommender might be contacted to inquire about the contents of the recommendation letter.

If the certificate is not written in English or Japanese, both the original and its English or Japanese translation must be submitted. (A translation by the applicant is acceptable.)

**Note: A person who has graduated or is expected to graduate from a foreign university, or a person who has received or is expected to receive a bachelor degree from a foreign university need to submit the photocopied graduation certificate (or the certificate of expected graduation), Certificate of Bachelor's Degree (If the graduation certificate or other documents show that bachelor's degree has been completed, applicants don't need to submit it) and the photocopied resume form mentioned in order to confirm your eligibility. These photocopied documents must be submitted to the Graduate Student Section of the Educational Affairs Division of the Graduate School of Engineering by 5:00pm, 8 December 2020. Submission by email is also available.**

**【C Applicants who have graduated or are expected to graduate from a Japanese university (excluding Faculty of Engineering of Kyoto University) should submit the following documents C ( , ), in addition to those specified above A ( to )】**

Academic transcript	Please submit the original of the document.
Graduation certificate (or certificate of expected graduation)	Please submit the original of the document.

**【D Applicants who meet the eligibility II-i-(2) should submit the following documents D ( , , ), in addition to those specified above A ( to )】**

Academic transcript	Please submit the original of the document. For the graduate/ the expected graduate from a college of technology, both of the documents for regular course and advanced course are required.
Graduation certificate (or certificate of expected graduation)	Please submit the original of the document.
Certificate of bachelor degree	Please submit a "Certificate of expected bachelor degree" signed or stamped by the head of the academic institution if you intend to apply for a bachelor's degree with the National Institution for Academic Degrees. (This must include a statement indicating that the applicant will promptly notify the Graduate School of Engineering, Kyoto University if and when the bachelor's degree is not conferred.)

In some divisions/departments, documents and procedures other than those indicated above may be required for application. For further information on each division/department, refer to "Details of Entrance Examinations of Each Division/Department".



#### IV Application Procedures

The application procedure will be completed when you registered your information on the Kyoto University Online Application, complete the payment for entrance exam fee and submit application documents in paper within the application period.

Applicants can choose the method of submission by registered express mail or direct submission. Access the following URL.

<https://www.webshutsugan.com/kyoto-u-daigakuin/>

**Note: Only registration on the Kyoto University Online Application will not complete the application.**

- (1) You should paste the label that you can print from our registration completion screen of the Kyoto University Online Application on the square shape envelope (Size 240 mm × 332 mm), and enclose all the completed application documents by registered express mail or direct submission.
- (2) Fill out the forms completely and send them on time. Incomplete or documents those mailed or submitted after passed application period are not accepted.
- (3) No changes are allowed in applications once they have been received.
- (4) The entrance exam fee will be returned to the applicant under the following circumstances only (contact the Graduate Student Section of the Educational Affairs Division in the Graduate School of Engineering (Phone: +81-75-383-2040, FAX: +81-75-383-2038)):
  1. The fee was paid but the applicant did not apply for the Graduate School of Engineering, Kyoto University. (No application was made for the Graduate School of Engineering, or an application was not accepted by the Graduate School of Engineering).
  2. The applicant inadvertently made a double payment of the fee.  
If you wish to request a refund of entrance exam fee, please send fax to provide information on Name of Applicant, Postal Code, Address, Phone Number, Payment Method of Entrance Exam Fee, Bank or Convenience Store You Used for Payment and Its Branch Name.
- (5) **In some divisions/departments, additional documents are required. Read “Details of Entrance Examinations of Each Division/Department” carefully so that you can prepare complete application documents.**
- (6) **Simultaneous applications to multiple divisions and/or departments are not allowed.**
- (7) Persons with disabilities who need reasonable accommodation are invited to consult with the Graduate School of Engineering, Kyoto University when taking the entrance examination and attending courses. Those persons are advised to contact the Graduate Student Section of the Educational Affairs Division of the Graduate School of Engineering well in advance since it may require some time for the university to prepare for appropriate correspondence.

Application period and the period of payment of entrance exam fee.

**5 January to 14 January, 2021 5:00 pm (must arrive)**

**Applicants must register on the Kyoto University Online Application and complete the payment for entrance exam fee, moreover all the documents must have arrived at Graduate School of Engineering within the above-mentioned period.**

The application documents postmarked Japan no later than 11 January and sent by registered express mail will also be accepted even if they arrive after the deadline.

- The submission methods: As a general rule, please submit the documents by registered express mail applied for at a postal counter. Applicants who need to come to KATSURA Campus for some reason can submit the documents to the designated box in the 1st Floor of Cluster B Administration Complex. Acceptance in person is not held. **Please submit the documents with plenty of time, since we might require applicants to deal with some problems regarding the procedure after submission.**
- Shipping address: Graduate Student Section, Educational Affairs Division, Graduate School of Engineering, Kyoto University Katsura, Nishikyo-Ku, Kyoto 615-8530, JAPAN
- Acceptance hours of the designated box\*: 9 : 00am - 5 : 00pm on weekdays in the application period  
\*Be sure to enclose the documents in an envelope with the address label that can be downloaded from the Kyoto University Online Application, seal it and put in the box.

#### V Selection Methods and Examination Voucher

Applicants shall be selected on the basis of the submitted documents and their results of the academic examination.

##### i Academic Examination

Detailed instruction of the examination will be separately notified of their examination dates.

##### ii Examination Voucher

The examination voucher will be mailed to the applicant in early-February to the addresses written on the return envelope for examination voucher to applicants (see III Application Documents).

## VI Announcement of Entrance Examination Results

### Schedule 10:00 am, 25 February 2021

Successful applicants' examination numbers will be listed on the website of the Graduate School of Engineering, Kyoto University. (Visit <http://www.t.kyoto-u.ac.jp/ja/admissions/graduate/exam1>)

A list containing the numbers of successful applicants will be sent to all applicants, and successful applicants will also be notified of authorization for admission. (The Graduate School of Engineering will not accept telephone inquiries regarding the examination results.)

## VII Admission Fee, Tuition and Admission Procedure

### i Admission Fee and Tuition

Admission fee: ¥282,000 (The amount is subject to change.)

**[International students expected to receive MEXT Scholarship are exempt from this fee.]**

Tuition: ¥267,900 for Spring Semester (annually ¥535,800) (The amount is subject to change.)

**[International students receiving MEXT Scholarship are exempt from this fee.]**

The amounts quoted above are tentative and may be revised.

If the amounts are amended at the time of admission or while the individual is registered as a student, the new amounts shall apply from the time of the amendment.

### ii Admission Procedure

- (1) Instructions on admission procedure will be mailed to each successful applicant in early- September 2021 to the address on the address that you registered address on the Kyoto University Online Application.
- (2) A written notice must be sent to the Graduate Student Section of the Educational Affairs Division, when the address change is required.
- (3) Notify the cluster office for each division/department immediately if the successful applicant declines admission.
- (4) Successful applicants must obtain their student visas by 1 October 2021.
- (5) The admission procedure is scheduled in mid-September 2021.

## VIII Notes

### (1) Handling of Personal Information

Personal information will be handled in accordance with “Act on the Protection of Personal Information Held by Independent Administrative Agencies, etc.” and “The personal information policy at Kyoto University”.

Name, gender, date of birth, address and other personal information provided through application is used for entrance examinations (application procedures and screening), announcement of successful applicants, admission procedures.

In addition, personal information (including information relating to performance evaluation) of enrolled students provided through application is used for students affairs (management of students' ID, academic supervision, improvement of educational curriculum, etc.), offering support to students (securing student health care, career support, application for tuition exemption and scholarship, etc.), collecting tuition fees.

Personal information provided through application may be provided to outside contractors for electronic data processing. In such cases, Kyoto University will conclude a contract with said outside contractor to ensure that personal information is managed and protected appropriately, in accordance with the Private Information Protection Law.

### (2) Security Export Control

In Kyoto University, Security Export Control for the purpose of maintaining the peace and security of Japan and the international community is conducted in accordance with “Foreign Exchange and Foreign Trade Act”. International applicants who fall under any of the conditions set out in said regulations may be unable to enter their desired course or program.

### (3) Long-Term Study Program

The Graduate School of Engineering provides the long-term study program that allow students to extend their study period up to twice of the standard study period for completion under certain circumstances/conditions such as work, childbirth, childcare, nursing to other family in special need and disabilities. If you wish to apply please confirm the details in the page of admissions of our website, and apply by the end of May.

## **Inquiries**

Graduate Student Section, Educational Affairs Division,  
Graduate School of Engineering, Kyoto University  
Address: Kyoto University Katsura, Nishikyo-Ku, Kyoto 615-8530, JAPAN  
Phone: +81-75-383-2040 or +81-75-383-2041  
FAX: +81-75-383-2038  
E-Mail: 090kdaigakuin-nyushi@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

Information on the entrance exam is uploaded on the website of the Graduate School of Engineering and each department as needed.

For those examinees who will have difficulty in taking the entrance exam due to the inclement weather or emergencies, we will notice on the implementation of examination for Graduate School of Engineering, which will be posted on the following website.

The website of the Graduate School of Engineering: <http://www.t.kyoto-u.ac.jp/en/>

The website of each department: Please access from above URL.

## **IX Admission Policy**

### **i Philosophy and Objectives**

The pursuit of the truth is the essence of learning. Engineering is an academic field that impacts the lives of people, and is greatly responsible for the sustainability of social development and the formation of culture. The Graduate School of Engineering at Kyoto University, based on the above premise, is committed to the development of science and technology with an emphasis on disciplinary fundamentals and basic principles while harmonizing with the natural environment. At the same time, we aim to assist students in their pursuit of a rich education with specialized knowledge, as well as the ability for its creative application, while nurturing high ethical standards and sense of responsibility.

### **ii Student Profile**

The Graduate School of Engineering welcomes the following students:

- Individuals who agree the philosophy and objectives of the Graduate School of Engineering and those who achieve these things actively.
- Individuals who have the basic education to pursue the truth and also have the judgment with logical thinking and beyond established concepts in specialized fields and related fields.
- Individuals who have a strong desire and initiative to pioneer new fields of science technology while integrating knowledge and keeping on solving, regarding the science technology and the social issues.
- Individuals with basic communication ability who understand other opinions and also express own opinions and assertions in an easy to understand. Entrance examination will be performed individual academic exam, evaluate and select the applicants including English ability, with emphasis on the basic knowledge of specialized field and those who have logical thinking abilities.

For detail of evaluation methods, it is mentioned in this guidelines.

## **X Educational Programs in Master's Course**

As of April 2008, the Graduate School of Engineering instituted a new Integrated Master's-Doctoral Course Program for students who look beyond the master to doctoral degree. Applicants to the Master's Course Program (2 years prior to the Doctoral Course Program) who have passed the entrance examination and also passed a qualifying evaluation may choose one of the programs described below.

For the classes offered in these programs, refer to the course catalogs provided after the admission.

### **i Curriculum in the Graduate School of Engineering**

The purpose of the curriculum in the Graduate School of Engineering is to nurture independent-minded researchers and technically sophisticated engineers dedicated to the search for truth. We aspire to produce cultured, unique graduates with high ethical standards who are capable of using their wide range of knowledge to creatively conduct advanced research, develop science and technology in harmony with the natural environment with an emphasis on basic research, and contribute to the search for truth, a sustainable development of the global society and the continual creation of culture.

In order to accomplish the above, the Master's Course Program (2 years) provides our students a wide range of knowledge and an international outlook by organically combining a rich variety of study subjects, experiments, exercises, seminars and short-term internships, and educates them to be technically sophisticated engineers and researchers with the abilities to discover and resolve problems independently.

The Doctoral Course Program (3 years) focuses on research-oriented education and assembles research teams in new research fields to nurture researchers who are capable of leading new research. We provide a rich variety of study subjects, experiments, lectures and seminars in order to instill in students the specialized and fundamental expertise needed to conduct research. As appropriate to the student's chosen field, we also provide ORT (On the Research Training) at our cutting-edge facilities in the Katsura Int'tech

Center on the grounds of Graduate School of Engineering, at sponsoring companies, at international organizations and elsewhere, as well as long-term internships, in order to fuse a wide range of knowledge with an international perspective.

Students that have entered as master candidates and intend to continue on to receive their doctor degrees and want to become researchers at a university, research institute, or industry are invited to participate in the Integrated Master’s-Doctoral Course Program (3–5 years). The Department continues to take a long-term view in designing its unique curriculum, combining classes, research, ORT and long-term internships. It will carefully formulate and plan its programs for classes and research.

**ii Educational Programs and Degree Requirements**

**(1) Educational Programs**

The Graduate School of Engineering at Kyoto University has two courses: the Master’s Course Program (the first portion of the graduate school program) and the Doctoral Course Program (second portion of the graduate school program). This School provides a master-only program (“Master’s Course Program”) as well as a program linking the master with the doctoral courses (the “Integrated Master’s-Doctoral Course Program” or “Integrated Program”). The Integrated Program is intended for students aspiring to earn a doctor degree and work as researchers in their fields.

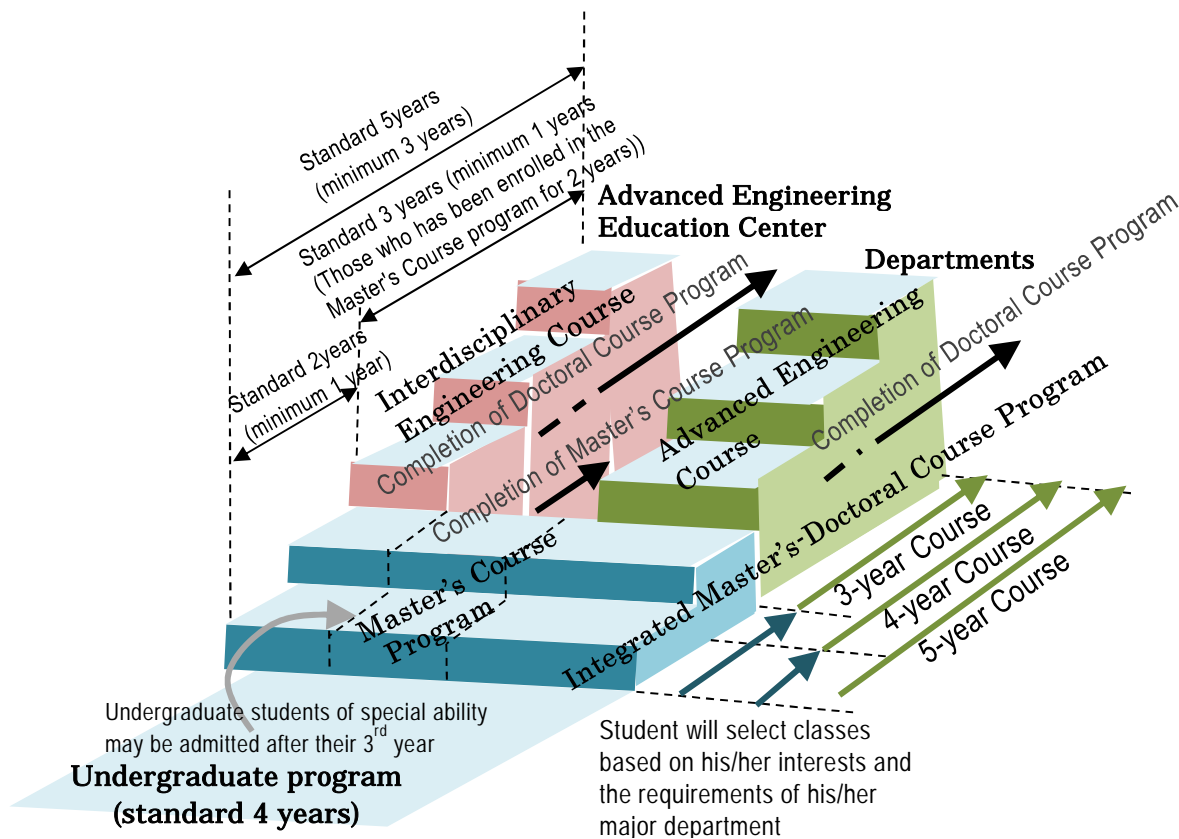
The Master’s Course Program offers lectures of the fundamentals in various specific fields. Students learn how to conduct research by conducting their own research for their theses. This is an educational program for students who hope to work as researchers or highly skilled engineers in corporations and research institutes.

The Integrated Program consists of the Interdisciplinary Engineering Course, courses that cross various departments that are taught at the newly established Advanced Engineering Education Center, as well as the Advanced Engineering Course taught in existing departments. Each program offers 5-, 4-, and 3-year courses.

Students in the Interdisciplinary Engineering Course must select a main academic advisor and 2 other assisting advisors. The student is registered under the department of the main academic advisor. These advisors will help the student determine a curriculum appropriate to his/her goal and provide detailed instructions including career guidance. The student’s progress will be regularly monitored, at intervals set by each department, as he/she proceeds through the academic curriculum and research.

In any Master’s Course Programs, for being accepted in the Doctoral Course Program, students must pass the corresponding entrance examination of the Doctoral Course Program.

The figure below shows a typical series of classes selected by a student after entering the Master’s Course Program. For further information, refer to “XI Educational Program (Interdisciplinary Engineering Course)” and “Details of Entrance Examinations of Each Division/Department”.



**(2) Degree Requirements**

A master degree will be awarded to the students who have been enrolled in the Master’s Course Program in the Department for at least 2 years, have received research guidance, have completed at least 30 credits

designated by their major field, successfully defended their master theses, and passed the final examination.

A doctor degree will be awarded to students who have been enrolled in Doctoral Course Program in the Department for at least 3 years, have received research guidance, have completed at least 10 credits designated by their major fields, have successfully defended their doctor theses, and have passed the final examination.

A master degree will be awarded to students who have been registered in the Integrated Program for 2 years and successfully defended their master theses. A doctor degree will be awarded to students who have completed the Integrated Program and successfully defended their doctor theses.

Students recognized as accomplishing very fast progress in both Master's and Doctoral Course Programs and in their research, and having successfully defended their theses, may be allowed to earn their master and doctor degrees in a minimum of 3 years.

## **XI Educational Program (Interdisciplinary Engineering Course) e Postgraduate Integrated Course Program of Human Security Engineering**

Urban areas with populations greater than 10 million (Megacities) are expected to be increasing at a rapid rate. Such urban population expansion and unmatched urban managements to these changes cause insufficient and unreliable urban services, environmental deterioration, and increase of hazard risks, which threat human security significantly.

Fulfilling basic human needs and assuring the self-sustainable recovery from environmental pollution and disasters in megacities have been the major challenges for several decades, and the situation still needs more improvement. One main reason for this unsuccessful situation was the unsystematic management of the technologies and systems for dealing with those risks rather than the rapid growth of cities. Besides past attempts to solve human security issues overlooked the importance of the development of human resources and communities for systematically applying those technologies and systems to their specific problems.

We define "Human Security Engineering" as a system of technologies (techniques) for designing and managing cities that enable inhabitants to live under better public health conditions, and also live free from potential threats of large-scale disasters and environmental destruction. For establishing this discipline, four existing fields, i.e. city governance, city infrastructure management, health risk management, and disaster risk management, are integrated into one discipline. Specifically, problem-solving education and research will be conducted on Megacities with emphasis on three key points: (1) active incorporation of strong local orientation and suitable local characteristics; (2) co-evolution of engineering technologies, urban administrative management, and system creation; and (3) inclusion of multilayered governance with various actors having different interests and values.

This educational program provides education in the core field of human security engineering and the four basic interdisciplinary fields, so that students can properly integrate and apply those knowledge, and create new methodologies to ensure the urban human security, as researchers and high level practitioners. Specifically, we put strong emphasis on the following aspects:

1. Creativity (in addition to having broad knowledge, the ability go beyond the boundaries of disciplines and subjects is important)
2. International experience (ability of research debate and presentation in English, education and research activity in foreign countries, and building international human network)
3. Independence (ability in research design and management, leadership, and problem-solving ability in practical situations)

## **XII Program for Leading Graduate Schools**

This program was started in 2012 in order to develop talented students into future leaders globally active across wide range of sectors in industry, academia and government, with a broad perspective and creativity.

Graduate school of Engineering joins the programs listed below.

### **a. Inter-Graduate School Program for Sustainable Development and Survivable Societies ("Composite" category)**

Departments getting involved in this program (from 2012):

Civil and Earth Resources Engineering, Urban Management, Environmental Engineering, Architecture and Architectural Engineering, Mechanical Engineering and Science

The information on subjects, curriculums, and recruitment of the students are uploaded on the website of these programs. Some program may close recruitment of students.

## 入試区分別入学試験詳細

(高度工学コース・修士プログラムの教育プログラムの内容を含む)

Details of Entrance Examinations of Each Division/Department

(including outline of Advanced Engineering Course and Master's Course Program)

- 社会基盤・都市社会系 (社会基盤工学専攻・都市社会工学専攻) ..... 23  
Division of Civil and Earth Resources Engineering/Urban Management  
(Department of Civil and Earth Resources Engineering, Department of Urban Management)
- 都市環境工学専攻 Department of Environmental Engineering ..... 30

入試区分によっては、出願書類以外にこの「入試区分別入学試験詳細」により提出書類を指示している場合がありますので、注意してください。なお、「入試区分別入学試験詳細」で指示された提出書類については、出願書類とは別に、志望する入試区分の事務室(Cクラスター事務区教務掛)に直接提出してください。

Depending on Divisions/Departments, applicants are requested to submit other documents besides application documents above. For details, please refer to page onward.  
Please be care noted that other documents required by each division need to be submitted to the C cluster office.

## 社会基盤・都市社会系（社会基盤工学専攻・都市社会工学専攻）

社会基盤工学専攻と都市社会工学専攻は合同で入学試験を実施し、受験生は両専攻の中から志望研究室や志望教員を選択できる。

### I. 専攻別志望区分

以下に示す研究内容を参照し、予め志望区分の教員と十分に連絡をとり、研究計画等について相談した上で、インターネット出願システムの志望情報入力画面で第1志望の志望区分を選択すること。

#### (1) 社会基盤工学専攻

志望区分	研究内容 (担当教員) (2020年10月現在)
1	応用力学：粒子法による流体解析、流体構造連成解析、乱流モデリング、海底トンネルの安定性評価、剛塑性有限要素法の開発と応用（西藤潤准教授・Khayyer, Abbas 准教授）
2	構造材料学：コンクリートを含む土木材料の諸性質、コンクリート構造を含む土木構造物の耐久性能・維持管理、設計法・シナリオデザイン（山本貴士教授）
3	構造力学：鋼・複合構造物の力学性状と合理的設計法、構造物の残存性能の非破壊評価と維持管理、海洋構造物の動的応答解析（杉浦邦征教授・北根安雄准教授）
4	橋梁工学：構造物の空気力学、空力不安定現象、流体関連振動、耐風安定化対策、耐風設計法、飛来塩分の輸送・付着機構、風災害の防止と安全性評価（八木知己教授）
5	構造ダイナミクス：構造物の動的応答と制御（免震・制振）、耐震設計法、ジオポリマーコンクリート（高橋良和教授・安琳准教授）
6	水理環境ダイナミクス：界面水理現象、植生乱流、氾濫流の水理、都市の水防災、水制とワンドの水域環境、物質輸送と移動床現象（戸田圭一教授・山上路生准教授）
7	水文・水資源学：水循環、水文予測、リアルタイム水文予測、水工計画、水資源管理（立川康人教授・市川温准教授・萬和明講師）
8	地盤力学：地盤と構造物の相互作用（静的・動的）の解明と設計法の構築、地盤の変形と破壊のシミュレーション、液状化解析法、メタンハイドレート含有地盤（木村亮教授・木元小百合准教授）
9	社会基盤創造工学：車両-橋梁連成系の構造力学、橋梁構造物の環境振動、橋梁ヘルスマニタリング、移動橋梁点検、スマートセンシングシステム、走行荷重作用下の高架橋の耐震性能評価（金哲佑教授）
10	空間情報学：リモートセンシング、地理情報システム、デジタル写真測量、都市のレーザ計測、都市活動のセンシング（宇野伸宏教授・須崎純一准教授）
11	景観設計学：景観デザイン、都市デザイン、土木施設アーキテクチャ、風土・景域環境、地域計画、都市形成史（川崎雅史教授・山口敬太准教授）
12	沿岸都市設計学：沿岸都市の水理構造物設計、粒子法、数値波動力学、数値流体力学、数値流砂水理学、混相流の計算力学、都市群集行動のマイクロモデル（後藤仁志教授・原田英治准教授）
13	応用地球物理学：地球物理学的手法による浅部から深部にいたる地下構造調査や社会的に影響のある地学現象のモデル化、地下情報可視化技術（三ヶ田均教授・武川順一准教授）

志望区分	研 究 内 容 (担当教員) (2020年10月現在)
14	地殻開発工学：二酸化炭素地中貯留や放射性廃棄物処分への貢献を目的とした岩石の力学・水理特性の研究、周辺環境が岩石物性の変化に及ぼす影響の解明 (福山英一教授・奈良禎太准教授)
15	計測評価工学：構造物や地下環境の保全に関わる計測技術と非破壊検査、材料の非破壊評価、石油・天然ガスおよび鉱物資源の環境調和型開発技術 (塚田和彦教授・村田澄彦准教授)
16	砂防工学：流砂系の総合的土砂管理、山地流域における土砂動態の予測・モニタリング、土砂災害の機構と防止対策、水・土砂・河川生態系構造の解明 (藤田正治教授・竹林洋史准教授)
17	防災水工学：洪水流と河床変動の3次元構造、土砂生産と洪水への影響予測、土砂移動現象の観測と実験、河川堤防決壊のメカニズム、都市の内外水氾濫の水理、河川環境保全 (中川一教授・川池健司准教授)
18	地盤防災工学：大地震時の地盤・構造物系の被災程度予測、降雨や地震による地盤の複合災害予測、複合材料を含む地盤の力学的挙動解明 (渦岡良介教授)
19	水文気象工学：気候変動による降雨場への影響評価、気象レーダーを用いた降雨予測、レーダー水文学、降雨場の衛星リモートセンシング、都市域の水・熱循環とその予測、河川流域の形成過程 (中北英一教授・山口弘誠准教授)
20	海岸防災工学：極端な高潮・高波・津波のモデリングとハザード・リスク評価、気候変動による沿岸部への影響評価と適応策、巨大津波リスクの長期評価 (森信人教授・志村智也准教授)
21	防災技術政策：地球温暖化による流域への影響評価、洪水氾濫解析、水災害に対する戦略的対策策定、陸域海洋相互作用 (佐山敬洋准教授・Lahournat, Florence 講師)
22	水際地盤学：海岸浸食の防止技術、沿岸構造物の実用的防災工学、水際域の堆積物動態と地形変化過程、沿岸環境の保全技術、土地・水域利用一体型の沿岸防災と海岸環境マネジメント (平石哲也教授・馬場康之准教授)
23	計算工学：自由水面流れの数値計算、流体・構造連成解析、水理分野の大規模高速計算、離散化と数値解法 (差分法・有限体積法・有限要素法)、並列計算、数値可視化 (牛島省教授)
24	国際環境基盤マネジメント：構造ヘルスマニタリング、非破壊検査、水工構造物の設計基準検討、気候変動を考慮した水工構造物の長期対策 (金善玫准教授・張凱淳講師)



## (2) 都市社会工学専攻

志望区分	研究内容 (担当教員) (2020年10月現在)
26	構造物マネジメント工学：材料特性、劣化メカニズムに基づく維持管理、構造物の更新技術（高橋良和教授）
27	地震ライフライン工学：地震工学、防災工学、耐震工学（清野純史教授・古川愛子准教授）
28	河川流域マネジメント工学：河川・人工水路など開水路流れの水理学、河床・河道変動の力学、湖沼の環境水理学、地下水水理学、河川事業に対する問題意識分析（細田尚教授・音田慎一郎准教授）
29	土木施工システム工学：地盤施工学、海外建設プロジェクト、プロジェクトリスクマネジメント、都市地下水環境保全、アセットマネジメント（Pipatpongsa, Thirapong 准教授）
30	ジオフロントシステム工学：粘性土地盤の時間依存性変形解析、歴史的な地盤構造物の保全技術、地盤情報データベース、不飽和土の微視的構造と巨視的力学挙動の関係の解明、不飽和土・飽和土の先進的数値解析手法の開発（三村衛教授・肥後陽介准教授）
31	地球資源システム：深部掘削における原位置応力状態の解明とその計測技術、高温高压条件下における岩石の物理的性質の評価、石油・天然ガスの掘削坑壁安定性、地熱システムの数値モデリング、地表変動を用いた地下のモニタリング（林為人教授）
32	計画マネジメント論：社会資本政策論、交通行動とコミュニケーション行動、アセット・リスクマネジメント（松島格也准教授）
33	都市地域計画：都市計画学、都市政策論、公共交通政策論（松中亮治准教授・大庭哲治准教授）
34	都市基盤システム工学：地下空間の開発と利活用、不連続性岩盤の力学的・水理学的挙動、地盤材料の力学-水理-熱-化学連成問題、エネルギー生成後の副産物処理に関する先端的アプローチ、トンネル等地盤構造物の施工問題（岸田潔教授・澤村康生准教授）
35	交通情報工学：交通・物流システムの最適化、ビッグデータやITSを利用した交通マネジメント、交通手段のシェアリングと総合化、交通ネットワーク信頼性解析、交通工学における実験的アプローチ（山田忠史教授・Schmöcker, Jan-Dirk 准教授）
36	交通行動システム：公共心理学研究、社会的ジレンマについての研究、行動的意思決定研究、実践的まちづくり社会科学研究、行動論的交通需要分析（藤井聡教授）
37	地殻環境工学：リモートセンシングや数値地質学による鉱物・水・エネルギー資源の分布形態解析、地殻のガス・流体貯留機能評価の高精度化、浅部から深部に至る地殻環境の評価と時空間モデリングの技術（小池克明教授・柏谷公希准教授）
38	耐震基礎：地震工学、地震動予測、耐震設計法、地盤-構造物の動的解析、土木構造物の地震応答性状、新耐震構造（澤田純男教授・後藤浩之准教授）
39	地域水環境システム：複合的環境動態モデル、総合流域管理、気候変動の洪水や渇水への影響評価（田中茂信教授・田中賢治准教授）
40	水文循環工学：水資源システムのマネジメント、地球水動態、水害対応行動のモデリング、水災害の防止と軽減（堀智晴教授）
41	災害リスクマネジメント：災害リスクの分析・評価方法、自然と産業の複合災害のマネジメント、化学的事故、インフラストラクチャと地域資産の持続可能なマネジメント、カタストロフリスク下の経済成長分析（Cruz, Ana Maria 教授・横松宗太准教授）
42	自然・社会環境防災計画学：水資源のリスクマネジメント、流砂系総合土砂管理、生物多様性保全、流域生態系管理（角哲也教授・竹門康弘准教授・Kantoush, Sameh Ahmed 准教授）
43	都市耐水：都市複合災害、水・構造システムの動的連成応答、極端事象に対する構造物の設計法、動的応答の制御、都市施設の性能経年劣化評価と管理、都市水害論、防災水理学、津波防災、地下空間の水防災（五十嵐晃教授・米山望准教授）
44	国際都市開発：都市・地域貨物輸送、ヒューマニタリアンロジスティクス（Qureshi, Ali Gul 准教授）

## II. 募集人員

若干名

## III. 出願資格

本募集要項の4ページから始まる各専攻に共通の要項（以下「募集要項」と略す）を参照。

**本学地球工学科を卒業したもの（卒業見込みを含む）に関しては、8月に実施の試験（一般学力選考）を受験することを強く推奨する。**

## IV. 学力検査日程

口頭試問の時刻・場所など、詳細は事前に、桂キャンパスCクラスターC1棟191号室（1階、大講義室）西側廊下の社会基盤工学・都市社会工学専攻掲示板に掲示するので、注意すること。

桂キャンパスCクラスターC1棟 171号室 他

月日	時間 試験科目
2月15日（月）または2月16日（火） のいずれか1日	9:00～ 口頭試問Ⅰ、口頭試問Ⅱ

※ 志願者には、口頭試問に関する場所・日時の詳細を郵送その他の方法で通知する。

### ○学力検査に関する注意事項

- ・ 試験開始時刻15分前までに受験者控え室（桂キャンパスCクラスターC1棟192号室）に集合すること。
- ・ 試験室には必ず受験票を携帯し、係員の指示に従うこと。
- ・ 携帯電話等の電子機器類は、なるべく試験室に持ち込まないこと。持ち込む場合には、電源を切り、かばんにしまって所定の場所に置くこと。身につけている場合、不正行為と見なされることがあるので注意すること。
- ・ 時計のアラームは確実に切っておくこと。
- ・ 口頭試問における口頭発表では、コンピュータと接続可能な液晶プロジェクターは用意するが、コンピュータは用意しないので各自が持参すること。ただし、プレゼンテーション目的以外の電子機器の使用は一切認めない。また、発表資料の印刷物を5部持参すること。
- ・ 口頭試問のスケジュールを変更する場合、該当者に事前に通知する。

## V. 入学試験詳細

### (1) 試験科目

- (a) 英語（200点/1000点）：TOEFL、TOEICまたはIELTSの成績により評価する。英語を母国語とする受験者は、成績証明書の代わりに「英語を母国語とする旨の宣誓書」（様式-M3）を提出してもよい。「英語を母国語とする旨の宣誓書」が提出された場合、口頭試問Ⅱにおいて英語力の判定を行う。

### ○英語の学力評価について

- ・ TOEFLの場合は社会基盤・都市社会系が指定する Institution Codeにより提出された Institutional Score Report、TOEICとIELTSの場合は成績証明書（原本）の成績により英語の学力を評価する（ただし、2019年2月1日以降に実施された試験に限る）。
- ・ 紙媒体の成績証明書（TOEFLの場合は紙媒体の提出は不要、TOEICとIELTSの場合は成績証明書の原本）を、2021年2月4日（木）午後4時必着で、「京都大学大学院工学研究科Cクラス

ター事務区教務掛（社会基盤・都市社会系 入試担当）」に提出または郵送（書留便）すること。

- TOEFL の場合は、Institutional Score Report が 2021 年 2 月 4 日（木）までに社会基盤・都市社会系に届くように、TOEFL 実施機関（米国 Educational Testing Service）に送付依頼の手続きをとること。期限後の提出は受け付けないので注意されたい。送付依頼手続きに必要な社会基盤・都市社会系の Institution Code は「C092」である。また、Institutional Score Report の社会基盤・都市社会系への到着に関する問い合わせには回答しない。
- TOEFL の場合は TOEFL-iBT (internet-Based Test)、および TOEFL-PBT (Paper-Based Test)、TOEIC の場合は TOEIC Listening & Reading 公開テスト、IELTS の場合は IELTS (Academic Module) のみ受け付ける。TOEFL-ITP や TOEIC-IP などの団体試験の成績証明書は無効となるので注意されたい。ただし、TOEFL iBT Special Home Edition のスコアは認める。TOEFL-iBT テストの MyBest スコアは認めない。
- TOEIC または IELTS の成績証明書は原本に限り、コピーは受け付けない。また、後日書類に不正が認められた場合には合格を取り消すことがある。

(b) 口頭試問 I（550 点/1000 点）

専門科目の基礎学力（構造力学、水理学、土質力学、計画理論、資源工学）、または数学について 20 分程度の口頭試問を日本語または英語で行う。口頭試問 I では、上記の専門科目 5 科目のうちの 1 科目あるいは数学を選択して解答すること。いずれの科目を選択する場合においても、様式-M5 を提出すること。

- 専門科目の受験を希望する場合  
出願時に受験を希望する専門科目を選択すること（様式-M5）。ただし、試験において、受験する科目を出願時に選択した専門科目から数学へ変更することができる。
- 数学の受験を希望する場合  
試験において、受験する科目を数学から専門科目へ変更することができる。専門科目へ変更する場合に受験を希望する専門科目を出願時に選択すること（様式-M5）。

ただし、試験において、出願時に様式-M5 で選択した専門科目以外の専門科目へ受験する科目を変更することはできない。

科目名		出題範囲
専門科目	構造力学	力のつりあい、断面力、影響線、応力とひずみ、材料の力学的性質、断面の性質、構造物の安定性および静定・不静定、静定構造、構造物の変形、柱の弾性座屈、不静定構造、弾性方程式法、仕事・エネルギーと仮想仕事、エネルギー原理
	水理学	流体運動の基礎、静水力学、完全流体の力学、水の波、粘性と乱れ、次元解析と相似律、管路の定常流、開水路の定常流
	土質力学	土の分類と物理的性質、土中の水理、圧密、土のせん断強さ、土の締固め、土圧、支持力、地盤内応力、斜面の安定、地盤改良、地盤の液状化、地盤の振動特性
	計画理論	線形計画法、非線形計画法、動的計画法、ゲーム理論、ネットワーク手法、費用便益分析、重回帰モデル、都市・地域計画、交通計画
	資源工学	岩石・岩盤の力学・水理、地質調査法と鉱床学、弾性波・電気・電磁探査の原理・データ解析と解釈
数学	微積分学、線形代数、ベクトル解析、複素関数、フーリエ変換、ラプラス変換、微分方程式、確率・統計	

(c) 口頭試問 II（250 点/1000 点）

卒業研究の内容あるいは現在の主要な研究の内容に関する口頭試問を日本語または英語で行う。

パソコン・液晶プロジェクター等を用いた5分以内の発表の後、口頭試問を行う（発表とあわせて10分程度）。

## (2) 有資格者及び合格者決定法

総得点（1000点満点）が500点以上の者を有資格者とし、有資格者の中から合格者を決定する。

## (3) 合格者の発表

募集要項「VI. 合格者発表」のとおり。

## VI. 出願要領

### (1) 別途提出書類について

全ての受験生は、工学研究科に提出する出願書類以外に、下記の書類を郵送（書留便）または窓口で提出すること。準備に時間を要する書類もあるので、注意すること。

#### (a) 書類提出期限

2021年1月14日（木）午後5時（必着）

#### (b) 提出先

〒615-8540 京都市西京区京都大学桂  
京都大学大学院工学研究科 Cクラスター事務区教務掛  
（社会基盤・都市社会系 入試担当） TEL：075-383-2967

#### (c) 提出書類（様式は工学研究科ホームページからダウンロードすること）

- 別途提出書類届（様式-M1）
- 日本語あるいは英語で記述した研究経過・計画書5部（A4紙3頁以内。様式-M2に必要事項を記入し表紙とすること。希望指導教員の承認印もしくはサインが必要）
- TOEICまたはIELTS試験の紙媒体の成績証明書。あるいは、英語を母国語とする旨の宣誓書（様式-M3）（何らかの理由で、TOEICまたはIELTS試験の紙媒体の成績証明書を上記期限までに提出できない者は、「入試別途書類（修士・英語）」と朱書した封筒で、2021年2月4日（木）午後4時必着で、京都大学大学院工学研究科Cクラスター事務区教務掛（社会基盤・都市社会系 入試担当）に提出しなければならない。）郵送の場合は書留便とすること。
- 日本滞在中の学費及び生活費の経費負担を証明する書類。但し、国費留学生または外国政府派遣留学生（自国政府派遣留学生）である志願者については提出の必要はない。
- 入学後の教育プログラム履修志望調書（様式-M4）（希望指導教員の承認印もしくはサインが必要）
- 口頭試問Iにおける受験希望専門科目調書（様式-M5）（希望指導教員の承認印もしくはサインが必要）

## VII. 入学後の教育プログラム

10月期入学修士課程外国人留学生学生募集分のうち、入試区分「社会基盤・都市社会系」の入試に合格することにより履修できる教育プログラムは、「博士課程前後期連携教育プログラム（融合工学コース）人間安全保障工学分野」に限られる（様式-M4）。

## VIII. 教育プログラムの内容について

### 【融合工学コース】

募集要項「XI. 教育プログラムの内容（融合工学コース）」を参照すること。

## Ⅸ. その他

### ○新型コロナウイルス感染症への対応について

新型コロナウイルス感染症に関連して、募集要項公表後に入試に関する変更が生じる可能性がある。変更する場合には工学研究科および専攻のウェブサイトに掲載するので、定期的に最新の情報を確認すること。

### ○問い合わせ先

〒615-8540 京都市西京区京都大学桂  
京都大学大学院工学研究科 C クラスター事務区教務掛  
(社会基盤・都市社会系 入試担当) TEL : 075-383-2967

参考 URL :

- ・社会基盤工学専攻 : <http://www.ce.t.kyoto-u.ac.jp/>
- ・都市社会工学専攻 : <http://www.um.t.kyoto-u.ac.jp/>

# 都市環境工学専攻

## I. 志望区分

以下に示す研究内容を参照し、予め志望区分の教員と十分に連絡をとり、研究計画等について相談した上で、インターネット出願システムの志望情報入力画面で、第1志望のみを選択すること。

志望区分	研 究 内 容 (担当教員)  (2020年10月現在)
1	環境デザイン工学、都市代謝工学、環境装置工学、資源循環科学、有害化学物質制御 (高岡昌輝教授・大下和徹准教授)
2	環境衛生学、環境予防医学、 環境予防工学(環境化学物質・大気汚染物質等の健康リスク評価、評価手法および予防・軽減手法の開発) (高野裕久教授・上田佳代准教授)
3	水環境工学、環境微生物工学、水処理工学、水・資源循環システム、水環境管理 (日高平講師)
4	環境リスク工学、環境リスクマネジメント、土壌・地下水汚染制御、汚染物質環境動態モデル解析、 放射能環境汚染対策、環境中病原微生物モニタリング (米田稔教授・島田洋子准教授)
5	大気・熱環境工学、地球環境シミュレーション、統合評価モデリング、気候変動緩和策分析、 気候変動影響分析、環境政策評価、環境経済分析 (藤森真一郎准教授)
6	都市衛生工学、環境ヘルスリスク制御工学、高度浄水処理工学、飲料水質のリスクマネジメント、 上水道システムのトータルデザイン (伊藤禎彦教授・越後信哉准教授)
7	環境質管理、統合的流域管理、環境微量汚染物質の検出・挙動把握・毒性評価・排出制御、 水環境天然有機物の特性解析、土壌・地下水汚染・浄化 (清水芳久教授・松田知成准教授)
8	環境質予見、環境汚染物質及び病原微生物のモニタリング・制御・影響評価、水の再利用、 雨天時排水管理、水域生態系保全、汚染源の推定と管理 (田中宏明教授・西村文武准教授・中田典秀講師)
9	環境保全工学、リサイクルシステムと廃棄物管理、循環型社会システム、教育研究機関の環境安全管理 (酒井伸一教授・平井康宏准教授)
10	安全衛生工学、労働衛生学、粒子状物質や化学物質の曝露評価、安全工学、安全衛生マネジメント (橋本訓教授・松井康人教授)
11	放射能環境動態、環境中での放射性・安定同位体の分布挙動の研究 (藤川陽子准教授)
12	放射性廃棄物管理、原子力技術の安全性研究及び有害物質の環境中での移行挙動の研究 (福谷哲准教授)

## II. 募集人員

若干名

## III. 出願資格

京都大学大学院工学研究科 2021 年度 10 月期修士課程外国人留学生学生募集要項（以下「募集要項」と略す）4 ページ「II i 出願資格」に定められた出願資格を有し、外国人留学生と認められる者のうち、融合工学コース「人間安全保障工学分野」を志望する者。

#### IV. 学力検査日程

口頭試問の試験日時、試験室および学力検査に関する注意事項については別途通知する。

#### V. 入学試験詳細

##### (1) 英語 (200 点/1000 点)

TOEFL、TOEIC、IELTS または学部英語の成績により評価する。手続き等、詳細については、下記の【英語の学力評価について】を参照。

##### 【英語の学力評価について】

- TOEFL の都市環境工学専攻が指定する Institution Code : C121 により、2021 年 2 月 5 日(金)までに工学研究科都市環境工学専攻に提出された受験者成績書（「Test Taker Score Report」または「Examinee Score Report」）、TOEIC の公式認定証(Official Score Certificate)または IELTS の成績証明書 (Test Report Form) の成績（ただし、2019 年 2 月 1 日以降に実施された試験に限る）もしくは学部英語の成績により英語能力を評価する。
- 上記の成績証明書を提出した場合は、その成績に基づく評価と学部英語の成績に基づく評価の良し方を英語の得点とする。
- TOEFL については、上記の受験者成績書のコピー（ウェブサイトからダウンロードした PDF 形式の Test Taker Score Report を印刷したものも可）、TOEIC については公式認定証、IELTS については、成績証明書（以下、これらを成績証明書と略す）を提出する場合は、2021 年 2 月 5 日(金)の午後 5 時までに、「京都大学大学院工学研究科 C クラスター事務区教務掛（都市環境工学専攻 入試担当）」に提出または郵送しなければならない。
  - TOEFL の場合は TOEFL-iBT (internet-Based Test) (Special Home Edition を含む) 及び TOEFL-PBT (Paper-Based Test)、TOEIC の場合は日本または韓国で実施される TOEIC 公開テストの成績証明書のみ受け付ける。TOEFL-ITP や TOEIC-IP などの団体試験の成績証明書は無効なので注意されたい。TOEFL のスコアにおいて MyBest™スコアは認めない。
  - TOEIC と IELTS の成績証明書は原本に限り、コピーは受け付けない。ただし、成績証明書の送付に遅延がある場合、ウェブサイトに表示される成績を印刷したものの提出を TOEIC および IELTS についても認める。また、後日書類に不正が認められた場合には合格を取り消す。
  - 英語を母語とする受験生は「英語を母語とする旨の宣誓書」（様式-M3）を本専攻に予め提出することにより上記成績証明書の提出を免除し、口頭試問で英語力を評価する。なお、後日虚偽の申請を行ったことが明らかとなった場合には合格を取り消す。
- TOEFL、TOEIC または IELTS 試験の詳細についての問い合わせ先は、それぞれ下記の通り。
  - TOEFL: 国際教育支援協議会 (CIEE) ・ TOEFL 事業部  
TEL: 0120-981-925、<http://www.cieej.or.jp/toefl/>
  - TOEIC: (一財)国際ビジネスコミュニケーション協会・TOEIC 運営委員会  
TEL: 06-6258-0224、<https://www.iibc-global.org/toeic.html>
  - IELTS: (公財)日本英語検定協会 IELTS 東京テストセンター TEL: 03-3266-6852  
(公財)日本英語検定協会 IELTS 大阪テストセンター TEL: 06-6455-6286  
<http://www.eiken.or.jp/ielts/contact/>

##### (2) 筆記試験 (400 点/1000 点)

都市環境工学に関する基礎及び専門分野から出題する。ただし、あらかじめ、志望する分野の指導教員と相談の上、筆記試験および口頭試問時の希望言語選択票(様式-M1)により、筆記試験および口頭試問時の希望言語を日本語または英語から選択し、提出すること。

##### (3) 口頭試問 (400 点/1000 点)

卒業研究の内容あるいは現在の主要な研究の内容と修士課程での研究計画について、コンピュータとプロジェクターを用いて口頭発表 (10 分以内) し、試問 (口頭発表とあわせて 30 分程度) を実施する。また、「英語を母語とする旨の宣誓書」（様式-M3）を提出した受験生は英語力も評価の対象とする。

##### (4) 有資格者及び合格者決定法

総得点 (1000 点満点) が 500 点以上の者を有資格者とする。有資格者の中から合格者を決定する。

## VI. 試験時の希望言語調査及び別途提出書類

(様式は工学研究科ホームページからダウンロードすること)

### (1) 外国人留学生に対する試験時の希望言語調査について

当専攻修士課程を志願する外国人留学生は、志望する分野の指導教員と十分相談の上、筆記試験および口頭試問時の希望言語選択票(様式-M1)により、筆記試験および口頭試問時の希望言語を日本語または英語から選択し、2020年12月10日(木)午後5時(必着)までに、京都大学大学院工学研究科 C クラスター事務区教務掛(都市環境工学専攻 入試担当)へ提出すること。期日までに提出がなかったものは日本語で筆記試験、口頭試問を行うこととする。

#### 【備考】

- ・ 書類提出期限：**2020年12月10日(木)午後5時(必着)**
- ・ 提出先：〒615-8540 京都市西京区京都大学桂  
京都大学大学院工学研究科 C クラスター事務区教務掛  
都市環境工学専攻 入試担当  
TEL：075-383-2967

### (2) 別途提出書類について

出願手続にあたっては、募集要項 6 ページ、Ⅲの工学研究科に提出する出願書類等の他に、下記の書類を、京都大学大学院工学研究科 C クラスター事務区教務掛(都市環境工学専攻 入試担当)へ提出または郵送すること。準備に時間を要する書類もあるので、注意すること。

- ・ 書類提出期限：**2021年1月8日(金)午後5時(必着)**
- ・ 提出先：〒615-8540 京都市西京区京都大学桂  
京都大学大学院工学研究科 C クラスター事務区教務掛  
都市環境工学専攻 入試担当  
TEL：075-383-2967
- ・ 提出書類 ① 別途提出書類届(様式-M2)  
② TOEFL、TOEIC または IELTS の成績証明書。あるいは、英語を母語とする受験者は、成績証明書の代わりに「英語を母語とする旨の宣誓書」(様式-M3)を提出してもよい。  
③ 学習・研究計画書：  
これまでの研究成果及び進学後の研究計画を A4 判の用紙 5 ページ程度に日本語あるいは英語で記載したもの 6部

### (3) 問い合わせ先

〒615-8540 京都市西京区京都大学桂  
京都大学大学院工学研究科 C クラスター事務区教務掛  
都市環境工学専攻 入試担当  
TEL：075-383-2967

当専攻のより詳しい情報は、<http://www.env.t.kyoto-u.ac.jp/>を参照のこと。



專攻提出書類様式

Designated Form

京都大学大学院工学研究科 社会基盤・都市社会系  
修士課程 (10月期) 入学資格者選考試験

Entrance Examination for the Master's Course Program  
Department of Civil and Earth Resources Engineering, and Department of Urban Management,  
Graduate School of Engineering, Kyoto University

## 別途提出書類届

Checklist of necessary documents

受験番号  
ID

出願者氏名  
Name of Applicant

(記入しないこと)

For official use. Please do not fill

1. これまでの研究内容および研究計画に関するレポート  
(A4紙3頁以内) (様式-M2)

(□に○印でチェックのこと、該当しない場合は×印)

Report about your past/current research (within 3 pages including figures and tables) (Form-M2). Enter "○" when you attach it, or "×" when you do NOT attach it.

2. TOEIC または IELTS 試験の成績証明書または英語を母国語とする旨の宣誓書 (様式-M3) (□に○印でチェックのこと、TOEFL の場合あるいは該当しない場合は×印、成績証明書を後日提出する場合は△印)

[TOEFL] 京都大学工学研究科社会基盤・都市社会系に直送される Institutional Score Report  
[IELTS] [TOEIC] 成績証明書原本

Enter "○" when you attach one of TOEIC or IELTS official score certificate, or Form-M3, "×" in the case of TOEFL or when you do NOT attach it, or "△" when you submit one of TOEIC or IELTS official score certificate later.

[TOEFL] Have Institutional Score Report sent to C092(Institution Code), Kyoto University

[IELTS] [TOEIC] Submit original official score report

3. 入学後の教育プログラム履修志望調書 (様式-M4)  
(□に○印でチェックのこと)

Statement of Course Selection (Form-M4). Enter "○" when you attach it.

京都大学大学院工学研究科 社会基盤・都市社会系  
修士課程（10月期）入学資格者選考試験

Entrance Examination for the Master's Course Program  
Department of Civil and Earth Resources Engineering, and Department of Urban Management,  
Graduate School of Engineering, Kyoto University

研究経過・計画書

Statement of Research Activity and Study Plan

氏  
(Family Name)

名  
(First Name)

1. 出願者氏名 : \_\_\_\_\_  
Name of Applicant

2. 希望指導教員名 : \_\_\_\_\_ 印  
Name of Prospective Supervisor Stamp or Signature \_\_\_\_\_

3. 希望研究題目 : \_\_\_\_\_  
Title of Research

注意事項  
(Instructions)

専門分野における現在までの研究経過と、希望指導教員の承認を得た今後の学修・研究計画を 3 頁以内で記述し、本紙とそのコピーを各部の表紙として添付すること。

Describe your past/current research activities and your study/research plan in the graduate program approved by the prospective supervisor. Complete your statement within 3 pages including figures and tables, and attach this cover sheet.

# 英語を母国語とする旨の宣誓書

## Letter of English Proficiency Statement

京都大学大学院工学研究科  
社会基盤工学専攻 専攻長 殿  
都市社会工学専攻 専攻長 殿

Chair, Department of Civil and Earth Resources Engineering,  
Chair, Department of Urban Management,  
Graduate School of Engineering  
Kyoto University

私は英語を母国語とすることをここに宣誓いたします。

I, the undersigned, hereby state that I am a native English speaker.

\_\_\_\_年 \_\_\_\_月 \_\_\_\_日  
Year            Month            Date

国 籍 \_\_\_\_\_  
Nationality

出願者氏名 \_\_\_\_\_  
Family Name                      First Name

署 名 \_\_\_\_\_  
Signature

京都大学大学院工学研究科 社会基盤・都市社会系  
修士課程（10月期）入学資格者選考試験

Entrance Examination for the Master's Course Program 【October Admission】  
Department of Civil and Earth Resources Engineering, and Department of Urban Management,  
Graduate School of Engineering, Kyoto University

## 入学後の教育プログラム履修志望調書

Statement of Course Selection

本選考試験の合格者が、10月期入学後に履修できる教育プログラムは、  
博士課程前後期連携教育プログラム（融合工学コース）人間安全保障工学分野  
に限られる。

Successful applicants for October Admission can pursue only “Integrated Master's-Doctoral Course Program (Interdisciplinary Engineering Course) of Human Security Engineering” upon entering the Master's Course Program.

私は、博士課程前後期連携教育プログラム（融合工学コース）人間安全保障工学分野  
の履修を志望いたします。

I would like to enroll “Integrated Master's-Doctoral Course Program (Interdisciplinary Engineering Course) of Human Security Engineering”.

Yes.

No.

日付 \_\_\_\_\_  
Date

出願者氏名 \_\_\_\_\_  
Name of Applicant

印  
Stamp or Signature

希望指導教員氏名 : \_\_\_\_\_  
Name of Prospective Supervisor

印  
Stamp or Signature

京都大学大学院工学研究科 社会基盤・都市社会系  
修士課程 (10月期) 入学資格者選考試験

Entrance Examination for the Master's Course Program  
Department of Civil and Earth Resources Engineering, and Department of Urban Management,  
Graduate School of Engineering, Kyoto University

口頭試問 I における受験希望専門科目調書

Statement of Specialized Subject of Oral Exam I

募集要項の「V. 入学試験詳細、(1) 試験科目」を参考に以下の5つの専門科目から受験を希望する専門科目を1つ選択すること。ただし、本様式で選択した専門科目以外の専門科目へ受験する科目を変更することはできない。

Select one specialized subject from the following five specialized subjects by referring to section “V. Details for Entrance Examination, (1) Examination Subjects” in the guidelines. Note that you are not allowed to take any other specialized subjects once you select one specialized subject in this form.

- |   |   |
|---|---|
| <input type="checkbox"/> 構造力学 Structural Mechanics        | <input type="checkbox"/> 水理学 Hydraulics               |
| <input type="checkbox"/> 土質力学 Soil Mechanics              | <input type="checkbox"/> 計画理論 Planning and Management |
| <input type="checkbox"/> 資源工学 Earth Resources Engineering |   |

日付 \_\_\_\_\_ 出願者氏名 \_\_\_\_\_ 印  
Date Name of Applicant Stamp or Signature

希望指導教員氏名 : \_\_\_\_\_ 印  
Name of Prospective Supervisor Stamp or Signature

京都大学大学院工学研究科都市環境工学専攻  
修士課程外国人留学生入学試験  
Entrance Examination for the Department of Environmental Engineering,  
Graduate School of Engineering, Kyoto University

筆記試験および口頭試問時の希望言語選択票

Statement of Language Preference for the Entrance Examination

筆記試験および口頭試問時に希望する言語を選択すること。

Enter “○” in the appropriate box about the language you wish to select for the entrance examination

	言語(Language)
(    )	日本語(Japanese)
(    )	英語(English)

日付 \_\_\_\_\_  
Date

氏名 \_\_\_\_\_  
Name of Applicant

印 \_\_\_\_\_  
Stamp/or Signature

京都大学大学院工学研究科都市環境工学専攻  
修士課程外国人留学生入学試験  
Entrance Examination for the Department of Environmental Engineering,  
Graduate School of Engineering, Kyoto University

## 別途提出書類届

### Checklist of Necessary Documents

受験番号

ID

氏名

Name of Applicant

(記入しないこと)

For official use. Please do not fill

(該当する場合は□に○印、該当しない場合は×印を記入すること)

Enter “○” when you attach it, or “×” when you do NOT attach it.

#### 1. TOEFL、TOEIC または IELTS 試験の成績証明書

##### Transcript of either TOEFL, TOEIC or IELTS

a) TOEFL、TOEIC または IELTS 試験の成績証明書の提出に関して、該当する一つに○印をつけること。  
Enter “○” in the appropriate box about submission.

- [ ] 成績証明書を本様式と同封して提出する。(You attach one of TOEFL, TOEIC or IELTS transcripts)
- [ ] 成績証明書を2月5日午後5時必着で提出する。(You submit later transcript by February 5<sup>th</sup> 5:00 pm)
- [ ] 成績証明書を提出しない。(You will not submit transcript)

b) 成績証明書を同封または2月5日午後5時必着で提出する者は、該当する試験に○印をつけること。  
成績証明書は試験当日に返却します。

- Enter “○” in the appropriate box about the transcript. The transcript will be returned on the examination day.
- [ ] TOEFL-iBT(internet-Based Test)
  - [ ] TOEFL-PBT(Paper-Based Test)
  - [ ] TOEIC
  - [ ] IELTS

#### 2. 英語を母語とする旨の宣誓書 (様式-M3)

##### Letter of English Proficiency Statement (Form M3)

#### 3. 学習・研究計画書 6部

##### Research Plan (6 copies)

志望する指導教員の氏名を記入し、確認印をもらうこと。

Applicant should have contacted the prospective supervisor from whom the applicant wishes to receive supervision prior to submitting the application documents, and the form must be signed by the supervisor.

指導教員氏名 Name of Prospective Supervisor	印 Stamp/or Signature
--	-------------------------



京都大学大学院工学研究科都市環境工学専攻  
修士課程外国人留学生入学試験  
Entrance Examination for the Department of Environmental Engineering,  
Graduate School of Engineering, Kyoto University

## 英語を母語とする旨の宣誓書

### Letter of English Proficiency Statement

京都大学大学院工学研究科  
都市環境工学専攻 専攻長 殿  
Chair, Department of Environmental Engineering,  
Graduate School of Engineering  
Kyoto University

私は英語を母語とすることをここに宣誓いたします。

I, the undersigned, hereby state that I am a native English speaker.

年 月 日  
Year Month Day

国 籍 \_\_\_\_\_  
Nationality

氏 名 \_\_\_\_\_ (男・女)  
Family name First name (Male/Female)

生年月日 年 月 日生  
Date of birth Year Month Day

サイン \_\_\_\_\_  
Signature

出願書類（様式）

Application Materials (Forms)



# 履 歴 書

Resume

入試区分 Division		受験番号 記入不要 Examinee's Number Need not fill out	
氏名フリガナ Name in KATAKANA		留学生国籍 International Student Nationality	
氏名 Name		留学生経費区分 (入学時予定) International student category at the time of admission	<input type="checkbox"/> 国費(日本政府)MEXT Scholarship Student <input type="checkbox"/> 私費Privately Funded Student <input type="checkbox"/> 自国政府派遣 International Student Sent by Home Government <input type="checkbox"/> JICA International Student supported by JICA
氏名アルファベット表記 (留学生のみ) Name in English alphabet (International student only)		AAO ID (AAO申請者のみ) AAO Applicant only	
生年月日(西暦) Date of Birth	(西暦)年Year 月Month 日Day	性別 Sex	<input type="checkbox"/> 男 Male <input type="checkbox"/> 女 Female
TEL(昼間連絡可能な番号) Contactable telephone number in daytime		e-mail	

## 履 歴 (空白期間の無いよう記入すること) History

学 歴	入学及び卒業年月(西暦で記入) Year and Month of Entrance and Completion	在学年数 Years Attended	学校名 Name of School	正規の修業年限 Required years for Graduation in standard
	年 月 入学 From Year Month Entrance 年 月 卒業 To Year Month Completion 年 Years	年 月 入学 From Year Month Entrance 年 月 卒業 To Year Month Completion 年 Years	年 Years Elementary Education (Elementary School)	小学校 (注1 Note1)
年 月 入学 From Year Month Entrance 年 月 卒業 To Year Month Completion 年 Years	年 月 入学 From Year Month Entrance 年 月 卒業 To Year Month Completion 年 Years	年 Years Secondary Education (Lower Secondary School)	中学校 (注1 Note1)	年 Years
年 月 入学 From Year Month Entrance 年 月 卒業 To Year Month Completion 年 Years	年 月 入学 From Year Month Entrance 年 月 卒業 To Year Month Completion 年 Years	年 Years Secondary Education (Upper Secondary School)	高等学校	年 Years
年 月 入学 From Year Month Entrance 年 月 卒業(見込) To Year Month Completion(Expected) 年 Years	年 月 入学 From Year Month Entrance 年 月 卒業(見込) To Year Month Completion(Expected) 年 Years	年 Years Higher Education (Undergraduate Level)	大学 University/College 学部・学科 Faculty & Department	年 Years
年 月 入学 From Year Month Entrance 年 月 卒業 To Year Month Completion 年 Years	年 月 入学 From Year Month Entrance 年 月 卒業(見込) To Year Month Completion(Expected) 年 Years	年 Years Higher Education (Undergraduate Level)	高等専門学校 Technical College 学科 Department 高等専門学校専攻科 Technical College Advanced Course 専攻 Department	年 Years
年 月 From Year Month 年 月 To Year Month 年 Years	年 月 From Year Month 年 月 To Year Month 年 Years	年 Years Refer to Note 3	注3参照 Refer to Note 3	年 Years
年 月 From Year Month 年 月 To Year Month 年 Years	年 月 From Year Month 年 月 To Year Month 年 Years	年 Years Refer to Note 3	注3参照 Refer to Note 3	年 Years
職 歴	勤務期間 Period of Employment	在職年数 Years of Employment	勤務先名称 Name of Organization	
	年 月 From Year Month 年 月 To Year Month 年 Years	年 Years 年 Years		
年 月 From Year Month 年 月 To Year Month 年 Years	年 Years 年 Years			

- 注: 1. 履歴事項は、日本の大学を卒業又は卒業見込みの者は、高等学校入学から現在までを記入すること。  
2. 「在学年数」、「正規の修業年限」欄の数値も漏れなく記入すること。  
3. 研究生の経歴は、学歴欄に記入すること。  
4. Put your study records as a research student on "Educational Background" section.  
5. 履歴欄は、空白期間がないように記入し、自宅において学習した期間については、「自宅学習」として、その期間を記入すること。  
6. Fill in all the sections without blank period, and applicants who have the period of study at home fill in like "Study at home"  
7. 記入欄が足りない場合は、同様の様式の別紙を作成して記入すること。  
8. If the space is not sufficient, attach another sheet like this document.

【修士課程出願者用】出願書類確認表  
Application Documents Checklist for Master's Program

【クラスター 工学研究科大学院掛に提出】募集要項「 出願書類等」及び下記を参照の上、必要な書類がそろっているか確認してください。

**Please submit to Graduate Student Section in B Cluster Office.** Please make sure that you have necessary documents before submission, referring to III Application Documents in the Guidelines and the following.

	京大工学部卒業 (見込)者 Graduate / the Expected to Graduate from Faculty of Engineering, Kyoto University	日本の大学(京大 工学部以外)卒業 (見込)者 Graduate / the Expected to Graduate from Japanese University (Except for Faculty of Engineering, Kyoto University)	外国の大学卒業(見込)者 Graduate/ the Expected to Graduate from Universities outside of Japan.			出願資格(2)該 当者(高専専攻 科修了・学位取 得者等) Applicants under Our Eligibility Requirement (2)	注意事項 Notes
			京大工学研究科研究生 Research Students of Graduate School of Engineering, Kyoto University	京大研究生(工学以外) Research Students of Graduate School in Kyoto University (except for Graduate School of Engineering)	左記以外 Applicants Other than the Two Listed Left.		
出願資格 Eligibility Requirement	(1)	(1)	(3)(4)(5)(6)			(2)	募集要項の i 「出願資格」参照。 Refer to II i "Elgibility" in our Guidelines.
志願票・写真票 Application Form and Photograph							出願する「入試区分」or「志望専攻」は正しいですか？ Is the printed "Division/Department" right? 写真は剥がれないように貼付できていますか？ Paste a photo securely. If it seems to come unglued, repaste it again.
受験票送付用封筒 Return Envelope for Examination Voucher to Applicant							384円/84円分の切手を <b>重ねずに</b> 貼付していますか？ Paste a total of 384/84 yen Japanese postage stamp on each envelope by glue, not overlapping each other. Write the address only within Japan. (ATTENTION: Be sure to buy postage stamp not revenue stamp.)
合格者受験番号一覧送付用封筒 Envelope for Result of Entrance Examination							封筒のサイズは <b>長型3号(120mm×235mm)</b> ですか？ Please prepare standard " <b>3号"envelope (Size:120mm×235mm)</b> , and paste each label. Paste strongly not to come off.
在留カード(表裏)のコピー Photocopy of Both Sides of Residence card	外国人留学生のみ提出 Only for International Students						出願時に提出できない者は、パスポートのコピーを提出すること。 If you can't submit this, please submit a photocopy of passport page with face photograph.
履歴書 Resume							出願する入試種別に合った用紙を使用していますか？(修士外国人留学生:用紙左上に記載) Is Course/Program/Enrollment month (upper left of the paper) right? 履歴に空白期間はありませんか？(所属する学校が無い期間は「自宅学習」等記入してください) Fill in the section "History" without blank period. Applicants who have the period of study at home fill in like "Study at home".
国費留学生証明書 MEXT Scholarship Student Certificate	現在、京大工学部・工学研究科以外に在籍中の国費留学生のみ提出 Only for International Students who Are Currently in Receipt of MEXT Scholarship, also Expected to Receive It after Enrollment, and Don't Belong to Graduate School of Engineering or Faculty of Engineering, Kyoto University.						所属の学校が発行したもの The certificate is issued by university which you currently enroll in.
成績証明書(原本) The original of academic transcript							日本語・英語以外の証明書には、日本語訳または英語訳を添付してください If the certificate is not written in English or Japanese, the original one and its English or Japanese translation must be submitted.
卒業(見込)証明書(原本) Original of Certificate of Graduation/Expected Graduation							日本語・英語以外の証明書には、日本語訳または英語訳を添付してください If the certificate is not written in English or Japanese, the original one and its English or Japanese translation must be submitted.
推薦書(原本) Original of Letter of Recommendation							日本語・英語以外の証明書には、日本語訳または英語訳を添付してください If the certificate is not written in English or Japanese, the original one and its English or Japanese translation must be submitted.
学士の学位授与証明書(原本) Original of Certificate of Bachelor's Degree							出願資格 i(2)に該当する者のみ Only for applicants under our eligibility requirement II i(2).

工学研究科協力講座(研究所等)の研究生で、研究生の出願・入学手続きの際に原本を提出し、確認を受けている場合に限り、コピーの提出を可とする。

We can accept the photocopy of these documents only if applicants are research students who belong to the Cooperating Chairs of our Graduate School, which are the designated laboratories in research institutes of Kyoto University, and already submitted the original documents when applying.

【志望する入試区分のクラスターへ提出】

**Submission to Cluster Office in Each Desired Division**

入試区分別の指定提出書類 Documents Required in Some Divisions Other than the Above	募集要項の「入試区分別入学試験詳細」をよく読んで提出物の有無を確認し、指定された方法により提出してください。 <b>提出場所は、上記書類の提出先と異なります。</b> In some Divisions, you may be required to submit other documents than the above. Read "Details of Entrance Examination of each Division and Department" in the Guidelines carefully. Please be noted that other documents need to be <b>submitted to cluster office in each desired division, different from the receiving office for the documents above.</b>
--	--

(受験票送付用)

速達

□□□-□□□□

切手貼付欄

column for pasting postage stamp

384円分の郵便切手をのりで貼ること。(購入の際は収入印紙と間違えないようにしてください。)

複数枚の切手を貼るときは、必ず重ならないよう貼ること。一部でも重なって貼った場合、郵送されない可能性があります。(この枠からはみ出してもかまいません。)

Paste a total of 384 yen postage stamp by glue. (ATTENTION: Be sure to buy postage stamp not revenue stamp.)

Be sure not to overlap stamps each other. If you do it, the mail may not arrive. You can also paste out of this frame.

You can use only Japanese postage stamps.

氏名  
Name

住所  
Address (Only the address in Japan)

切り取り線

様

入試区分  
Division

京都大学大学院工学研究科

〒615-8530 京都市西京区京都大学桂  
TEL 075-383-2040, 2041

(合格者受験番号一覧送付用)

□□□-□□□□

切手貼付欄

column for pasting postage stamp

84円分の郵便切手をのりで貼ること。(購入の際は収入印紙と間違えないようにしてください。)

複数枚の切手を貼るときは、必ず重ならないよう貼ること。一部でも重なって貼った場合、郵送されない可能性があります。(この枠からはみ出してもかまいません。)

Paste a total of 84 yen postage stamp by glue. (ATTENTION: Be sure to buy postage stamp not revenue stamp.)

Be sure not to overlap stamps each other. If you do it, the mail may not arrive. You can also paste out of this frame.

You can use only Japanese postage stamps.

氏名  
Name

住所  
Address (Only the address in Japan)

様

入試区分  
Division

京都大学大学院工学研究科

〒615-8530 京都市西京区京都大学桂  
TEL 075-383-2040, 2041

受験票送付用

(Return label for examination voucher to applicant)

These labels are used for sending your examination voucher and result to you. Please follow the steps below.

カラーでプリントアウトしてください。

「宛名ラベル」を切り取り線にしたがって、ハサミ等で切り取ってください。

住所・氏名・郵便番号・入試区分を記入してください。

(日本国内の住所に限る)

各「宛名ラベル」に必要な切手をのりで貼付してください。(切手貼付欄の注意事項をよく読んでください。)

市販の長形3号の封筒(120mm×235mm)に貼り付けてください。(郵送中に剥がれてしまうことの無いよう、強くのり付けしてください。)

合格者受験番号一覧送付用

(Label for the result of entrance examination to applicant)

Please print this label in color.

Along the cut line, cut it with scissors etc.

(.....切り取り線..... = cut line)

Please write address in right space(Only the address in Japan), your name on the above of <様>, zip code in , and desired division in <入試区分> squarespace.

Please paste necessary stamps by glue in the column for pasting postage stamp. Please confirm the notes in the column.

Please prepare standard "3号"envelope (Size:120mm×235mm), and paste each label. Paste strongly not to come off.

Please make arrangement these envelopes to be able to receive in Japan.

郵便  
切手

615-8540

京都市西京区京都大学桂  
京都大学大学院工学研究科  
Cクラスター事務区教務掛

行

差 出 人	入試区分	
	住所	〒 -
	氏名	

切り取り線

- ①「宛名ラベル」を切り取り線に沿って、ハサミ等で切り取ってください。
- ②各入試区分の指定する郵送方法に従い、必要な切手を「宛名ラベル」に貼付してください。
- ③市販の封筒に、「宛名ラベル」を貼付し、必要書類を郵送してください。（郵送中に剥がれてしまうことの無いよう、強くのり付けしてください。）

This label is used for sending application documents required by desired Division to Students affairs division at Cluster C.

- ①Along the cut line, cut it with scissors etc. (切り取り線=cut line)
- ②Paste necessary postal stamps in red square following from each submission methods.
- ③Paste this label to your prepared envelope, and mail the necessary documents.

Please paste strongly not to come off.

差出人=From  
入試区分=Name of desired Division  
住所=Address  
〒=Zip code  
氏名=Name